

令和6年度

事業報告書

1. 法人事業報告書
2. 施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

令和6年度

法人事業報告書

社会福祉法人 恵の園

目 次

1. 令和 6 年度総括報告（1 年を振り返って）	1
2. 法人役員、評議員、運営協議会委員	5
3. 理事会開催状況	5
4. 評議員会開催状況	7
5. 運営協議会開催状況	7
6. 内部監査結果	7
7. 法人借入金償還状況	7
8. 職員人事異動状況	8
9. 職員配置状況	8
10. 施設利用者状況	8
11. 補助金による助成物件	9
＜総務部＞	
(1) 庶務・経理係	10
(2) 固定資産管理係	11
(3) 防災・防犯係	12
(4) DX 係	15
(5) 交通安全係	16
(6) 地域福祉係	16
(7) 広報係・魁	17
＜人事部＞	
(1) 採用係	19
(2) 人材育成係	19

①外国人介護人材チーム

②障害者雇用チーム

(3) 安全衛生委員会	22
-------------	----

<その他の係>

(1) 支援向上委員会	23
〔虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会〕	
(2) 職場環境改善員会	24
(3) 公益的取り組み	25

1. 令和6年度総括報告（1年を振り返って）

（1）運営全般

「大事なことを大事にしていく」を年間スローガンとして掲げた。

経営状況については、今年度は、通所事業所については利用定員安定もしくは増加しているが、入所施設では定員割れをしている。特に特別養護老人ホームカナンでは、定員の90名に近づけることができなかったため厳しい経営状況であった。また、今年度もコロナ感染、ノロ感染、インフルエンザの感染が広がった。年度末には原因不明の発熱や咳をなどクラスターが発生してしましたが、感染症BCPに従って対応した。

（2）経営力の向上を図る

① 利用者の安定的な獲得を目指す

- ・ 障害施設では、特別支援学校との連絡調整（現場実習の受入、卒業後の進路相談等）や法人外の相談支援事業所への連絡調整を行ない新規利用へつなげた。（通所）
- ・ 外部販売へ多く出店し法人、事業所のPRを行なった。
- ・ 特別養護老人ホームカナンでは、職員増がなかなか進まず利用率を上げることができなかった。老人デイサービスでも利用率が上がった。

②さらなるコスト削減を進める

- ・ 一部電気料金の削減を実施した。
- ・ また、共同購入を進めるための準備を進めることができた。

② 社会の変化（福祉の流れ）に対処していく

- ・ 報酬改定が施行され各種加算の確認し申請を実施できた。また、改定された内容で取得できそうな内容について体制を整備した。

（3）生産性の向上を更に推し進める

①業務改善活動体制を構築していくため、委員会を設置する

- ・ 委員会を定例で開催した。

②「組織は人なり」の基本に立ち返り、職員（外国人・高齢者・障害者・未経験者等）の採用・育成システム（人事考課の見直しも含む）・定着について再構築する。

- ・ 外国人介護人材向けの「語学力アップ研修」「介護福祉士国家試験対策」などの案内をし、講座申込のためのバックアップを行なった（費用面の補助も含む）。
- ・ 契約職3級向けの「業務振り返りシート」を作成し、本人の働く目的や能力に沿った目標設定をする形に変更した。
- ・ 課題としていた「中堅職員研修」は、準備不足で実施ができなかった。

③「成長できる職場（キャリアパスの明確化等）」の仕組みづくりを再編する。

- ・人材育成係が中心となり「研修体系（案）」「キャリアパス（案）」を作成したが、内容が十分ではなく完成には至らなかった。

④心身の健康（腰痛予防やメンタルヘルス等）を維持していくための対応を実践していく

- ・安全衛生委員会が中心となり「職員向けのヨガ教室」を継続実施した。
- ・人材育成係と安全衛生委員会が連携し、シニア雇用や障害者雇用向けの「労災予防・体力チェック」の研修を新たに企画し、実施した。

⑤D X化を更に推し進める

- ・グーグルワークスペースを法人係の一部まで広げることで、連絡調整等に有効的に活用できるようになった。
- ・法人ネットワーク改修について、発注したが機器の納品が遅れ工事は未実施。

（４）その他の課題

① 昨年度に再編成した組織を強化していく。

- ・次年度に継続。

②「予防も福祉」という視点から、更に広い視野で、予防的福祉の取組を展開していく。（介護予防教室、介護及び障害の予防のための啓発、貧困対策、各種海外支援など）

- ・リーフレットの作成は予定通りに進められた。

③生活困窮者の方々の支援にとどまることなく、住宅を確保することが難しい方々への居住支援等も検討していく。

- ・次年度に継続。

（５）各福祉サービスの推進

①「グレイスホーム」は、入所待機者が継続していない状況のため、年度末で短期入所を空所型へ変更することとした。老朽化に伴い、積立金を活用して館内のLED交換・浄化槽整備を実施した。モニタリング時に利用者の意思確認として地域移行への聞き取りをし、就労希望や今後の生活について検討した。

②「あけぼのホーム」は、新型コロナウイルスに罹る利用者・職員も数名いたが、施設全体に拡大することはなかった。面会や外出は飲食をしない形で継続し、家族懇談会を再開した。あけぼのホーム建て替えについて株式会社新環境設計との検討を継続した。

③「めぐみの里」は、昨年に引き続き「ぐんま強度行動障害支援者総合事業」に参画し、コンサルタントの助言を受けながら支援の見直しを図った。また、年４回、感染症クラスターになり、ゾーニング方法の見直し等を行なったが、２月末の風邪症状は重症化してしまった。

④「カナン」は、令和６年度の４月は、５８名の利用者が在籍し、１０月には６４名まで増やすことができた。しかし、１月に発生したコロナウイルス、インフルエンザの流行、３月の原因不明の呼吸器系疾患の流行に伴い、３月末の時点では５８名の在籍者数とな

った。

- ⑤「マイーム」は、他施設への移行や精神疾患の悪化により、3名が退所となった。また、生活困窮者で在宅生活が長く、集団生活が難しい方（精神障害あり）の受け入れを行ない、その都度関係部署と連携を図り対応を行ってきたが、本人の意向に伴い退所となった。
- ⑥「ベテル」は、利用者数の大きな増減なく、安定した稼働率を保守できた。就労面もDTFプリンター導入後、オリジナルグッズの受注を多く確保し、平均工賃 35,024 円と目標工賃を大きく超える実績を達成した。
- ⑦「エステル」は、特別支援学校（渋川・群大附属）から4名の利用申込みがあり、在学中での実習対応や学校との連絡調整の効果が実を結んだ結果となった。利用者関係では、本人の状態変化、ご家族の高齢化で1名が入所施設への移行。就労Bでは、クリーニング班の大幅な収入減となったが、平均工賃は 19,651 円（前年比+1,418 円）と目標を達成することができた。生活では、利用者の状況に合わせ日々の日課を変更し安定した生活を重視した。
- ⑧「シャローム」は、売上は 8,247,502 円（前年度比 102%）、月額平均工賃は 23,866 円（前年度比 93%）となり、目標の 25,000 円を達成することができなかったが、利用率は増加し、施設会計は改善。最終的な収支差額は 1,831,828 円であった。
- ⑨「ゆうかり」は、新規利用の方が定期的に利用を開始して徐々に増加となった。昨年度の平均利用率は 53%であったが、令和 6 年度の後期にかけて利用率が上昇しており、令和 6 年度の平均利用率は 68%になった。
- ⑩「ぶどうの木」は、相談支援専門員 3 名となり相談支援体制が充実した。県外の利用者で、グループホームから入所施設への移行する事例、虐待通報があった事例等の困難事例があり、基幹相談支援センターや各機関と連携しながら対応した。
- ⑪「シオンの丘」は、開所 7 年目に入り、2 名体制でコンスタントに毎月 80 件以上の安定した居宅計画費を得ることができた。また、地域包括支援センターや病院、電話相談からも新規利用者の獲得に繋げることができた。
- ⑫「オリーブ」は、昨年度に比較し売り上げを伸ばすことができた。
- ⑬福祉の啓発誌「魁」の編集・作成・発行（4 回）を行ない、福祉の啓蒙を行なった。

（6）施設整備関係

主に次のような施設整備を行なった。

- ①「グレイスホーム」は、浄化槽マンホール工事（2,145,000 円）職員室エアコン（295,350 円）館内・厨房 LED 交換（1,923,493 円）浄化槽 放流ポンプ計量ポンプ交換（290,000 円）居室ベッド（271,480 円）エアコン居室 4 台（423,880 円）。
- ②「あけぼのホーム」は、パソコン（1,515,727 円）、エアコン（505,130 円）、ロッカー（671,000 円）、ベッド（771,760 円）。
- ③「めぐみの里」は、ワゴン R 市や県及びマフラー修理（484,346 円）、2 階西トイレ汚物処理槽交換（220,000 円）、3 階西トイレブース修理（82,500 円）、作業等西側プレハブ小屋撤去（220,000 円）、1 階食堂前洗面台交換（1,576,300 円）、1 階男性トイレ排水管修繕（371,800 円）、2 階・3 階連絡通路照明交換（236,500 円）、利用者居室ルームエアコン交換 12 台（1,146,283 円）屋外センサー交換（1,353,000 円）、2 階ベランダ入り口電気錠設置（825,000 円）、ボイラー排水管修理（187,000 円）、デスクトップパソコン交換（198,000 円）、中道冷蔵庫交換（397,357 円）、食事用ワゴン購入（219,230 円）。

- ④「カナン」は、入浴用マニュアルストレッチャー（366,300 円）、厨房給湯器更新工事（1,045,000 円）。
- ⑤「ベテル」は、DTF プリンター（5,478,000 円：内 5,400,000 円を積立金より取り崩し）、ノートパソコン（205,700 円）。
- ⑥「エステル」は、パソコン（200,200 円）、パンスライサー（147,500 円）。
- ⑦「シャローム」は、パソコン 1 台（192,500 円）、身障用トイレ便器入れ替え修繕（148,500 円）、施設車両セレナ購入（3,421,910 円→内訳：日本財団助成 2,250,000 円、自己負担 1,171,910 円）。

（7）借入金の償還

グレイスホームの大型改修工事（福祉医療機構）、特別養護老人ホームカナン建設・増床部も含む（群馬銀行・北群馬信用金庫）、エステル建築（群馬銀行）の各借入金は、令和 6 年度分の償還を予定通り行なった。

2. 法人役員、評議員、運営協議会委員

(1) 役員、評議員、運営協議会委員（令和6年4月1日現在）

役 職	定数	氏 名
理 事	7	山田雅人（理事長）、池田澄子、永田智彦、柴田敏樹 内山由紀、藤巻かおり、茂串英明
監 事	2	澤口俊行、飯塚秀利
評議員	8	木村睦子、細井雅生、星名建市、井口千春、賤津進介、櫻井実 島田幸治、山崎友丈
運営協議会委員	5	川原武男、内海文雄、秋葉郁子、木村行男、吉田雄希

(2) 就任・退任役員

①就任役員

役職名	氏 名	就任年月日	備 考
	なし		

②退任役員

役職名	氏 名	退任年月日	備 考
	なし		

(3) 就任運営協議会委員

①就任委員

役職名	氏 名	就任年月日	備 考
運営協議会委員	木村 行男	令和6年6月3日	

②退任委員

役職名	氏 名	退任年月日	備 考
運営協議会委員	小澤 征夫	令和6年6月2日	

3. 理事会開催状況

開 催 日	審 議 内 容	審議結果
第269回 令和6年5月22日	第1号議案 令和5年度 事業報告（案） 第2号議案 令和5年度 会計収支決算（案）	可決 可決

	第3号議案	監事監査報告 社会福祉充実残高及び社会福祉充実計画 (案)	可決
	第4号議案	法人・施設・会計責任者・出納係 (案)	可決
	第5号議案	諸規定の一部変更 (案) ・経理規程・職員給与規程 ・契約職員給与規程 ・短時間正職員就業規則	可決
	第6号議案	運営規程の一部変更 (案) ・グレイスホーム・あけぼのホーム ・めぐみの里・マイーム・ベテル ・エステル・シャローム・ぶどうの木 ・シオンの丘	可決
	第7号議案	第136回評議員会の開催 (案)	可決
第270回 令和6年9月18日	第1号議案	法人積立金目的外取り崩し (案)	可決
	第2号議案	令和6年度第1次収支補正予算書 (案) ・法人・カナン	可決
	第3号議案	法人・施設出納係 (案)	可決
	第4号議案	諸規定の一部変更 (案) ・職員給与規程・契約職員給与規程	可決
	第5号議案	運営規程の変更 (案) ・マイーム	可決
	第6号議案	第137回評議員会の開催 (案)	可決
第271回 令和6年12月12日	第1号議案	諸規定の一部変更 (案) ・職員就業規則	可決
	第2号議案	運営規程の変更 (案)	可決
	第3号議案	グレイスホーム定員変更について (案)	可決
第272回 令和7年2月28日	第1号議案	令和7年度修繕及び購入に伴う積立金取り崩し (案) ・めぐみの里・シャローム	可決
	第2号議案	令和6年度第2次収支補正予算書 (案)	可決
	第3号議案	令和7年度 法人・施設管理責任者・施設長 会計責任者・出納係 (案)	可決
	第4号議案	令和7年度 事業計画書 (案)	可決
	第5号議案	令和7年度 収支予算書 (案)	可決
	第6号議案	諸規定の一部変更 (案) ・育児・介護休業等に関する規程	可決
	第7号議案	運営規程の一部変更 (案) ・グレイスホーム・あけぼのホーム ・めぐみの里・ベテル・エステル ・シャローム・マイーム	可決
	第8号議案	介護職員初任者研修事業 (案)	可決
	第9号議案	第138回評議委員会の開催 (案)	可決

4.評議員会開催状況

開 催 日	審 議 内 容	審議結果
第136回 令和6年6月11日	第1号議案 令和5年度 会計収支決算書（案） 監事監査報告 第2号議案 社会福祉充実残高及び社会福祉充実計画 について（案）	可決 可決
第137回 令和6年10月7日	第1号議案 法人積立金目的外取り崩し（案） 第2号議案 令和6年度第1次収支補正予算書（案）	可決 可決
第138回 令和7年3月19日	第1号議案 令和6年度 第2次収支補正予算書（案） 第2号議案 令和7年度 事業計画書（案） 第3号議案 令和7年度 収支予算書（案）	可決 可決 可決

5.運営協議会開催状況

開 催 日	内 容
令和6年7月17日	居住支援法人の取り組みについて

6. 内部監査結果

令和6年5月17日（金）に当法人の監事による令和5年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

7.法人借入金償還状況

※元金のみ

（単位：千円）

借 入 先	当初借入額	償還済額	当期減	借入残額	備 考
社会福祉・医療事業団	30,000	22,150	1,570	6,280	グレイスホーム 建物改修工事借入 金
群馬銀行	600,000	120,024	20,004	459,972	カナン 建設借入金
北群馬信用金庫	500,000	83,400	16,680	399,920	
北群馬信用金庫	600,000	10,020	20,040	569,940	
群馬銀行	120,000	36,360	6,060	77,580	エステル 建設借入金
計	1,850,000	271,954	64,354	1,513,692	

8.職員人事異動状況（令和6年度中）※正職員のみ

	採用	退職
人数	17名	16名

9.職員配置状況（令和6年3月31日現在）

	グレイス ホーム	あけぼの ホーム	めぐみの 里	ベテル	エステル	シャローム	マイーム	ぶどうの木
正職員	9	22	21	4	6	2	2	3
契約職員	4	15	22	6	10	6	8	0
嘱託医等	(1)	3	1	(1)	(1)	(1)	0	0
派遣職員	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	13	40	44	10	16	8	10	3

	カナン	ゆうかり	シオンの丘	オリーブ	合 計
正職員	27	4	2	0	102
契約職員	23	3	0	1	98
嘱託医等	3(2)	0	0	0	7
派遣職員	0	0	0	0	0
合 計	53	7	2	1	207

※兼務職員は所属施設のみに計上しています。

※嘱託医の兼務は()で記載し合計には含めません。

10.施設利用者状況（定員及び現員及び利用率）（令和6年3月31日現在）

定員及び現員

	グレイス ホーム		あけぼの ホーム		めぐみの里		ベテル		エステル				シャローム	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	就労継続		生活介護		定員	現員
生活介護	30	26	50	48	80	72								
入所支援	30	26	50	48	80	72								
入所														
通所							20	27	25	31	15	14	20	25
短期入所	1		3		空床									
日中一時					若干名		1		1					
計	30	26	53	48	80	72	20	27	26	31	15	14	20	25

年間利用率（％）

生活介護	85.6	91.9	91.0				
入所支援	88.2	91.9	91.5				
通所				113.7	94.9	61.9	93.3

短期入所	23.0	0.6					
日中一時							

	バルナバ ホーム		さくら ホーム		ダビデ ホーム		クロス ホーム		カナン		ゆうかり		合 計	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
生活介護													160	146
入所支援													160	146
入所	6	4	4	3	6	6	7	6	90	58			113	77
通所											20	33	100	130
短期入所									空床5				9	
日中一時													2	
計	6	4	4	3	6	6	7	6	95	58	20	33	382	353

年間利用率（％）

入所	90	72.4	97.2	86.0	69.4		
通所						68.0	
短期入所					86.3		
日中一時							

	シオンの丘
人数	97

※生活介護と入所支援の利用重複者と、日中一時の定員と現員数は合計には加算していません。
 ※ゆうかりの現員数は、契約者数となり、合計には含まれません。

11.補助金による助成物件

(単位：円)

助成団体	補助対象施設	助成物件	総 額	助成金額
東京都福祉局 障害者施策推進部	あけぼのホーム	令和6年度障害者施設等 物価高騰緊急対策事業	764,196	764,196
渋川市社会福祉協議会	めぐみの里	歳末たすけあい募金 配分金助成金事業	20,000	20,000
日本財団	シャローム	送迎車両	2,820,000	2,250,000
群馬県園芸協会	シャローム	果樹経営支援対策 事業	567,600	516,000
群馬県園芸協会	シャローム	果樹未収益期間 支援事業	378,400	344,000

<総務部>

(1) 庶務・経理係

①概要

施設長との連携を強化して自身の考えを伝え、計画的な予算作成、予算執行を、今後も進めて行く。

②重点目標に対する取り組み

ア 業務の ICT 化推進を検討

- ・電子帳簿保存法については、永田会計事務所と連携し導入が出来た。

イ 庶務経理系のスキルアップを検討

- ・定額減税の勉強会では複数の班に分かれて全ての事務員が研修を受けた。
その結果、トラブルなく定額減税の事務処理を行なう事が出来た。
- ・全国経営者協議会主催の決算研修に職員 1 名参加した。
- ・福祉医療機構のシステム変更説明研修に複数に分かれ全ての事務員が参加し
情報を共有出来た。

③見学者受け入れ状況

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体	日数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	人数	0	0	0	0	0	3	0	0	0	8	0	11
個人	日数	1	0	2	2	2	4	7	2	1	3	4	32
	人数	1	0	6	29	2	4	11	3	1	5	8	80
総 合計	日数	1	0	2	2	2	4	8	2	1	3	5	34
	人数	1	0	6	29	2	4	14	3	1	5	16	91

(令和 5 年度 42 日、147 人)

④実習生受け入れ状況

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
社会人・学生 (資格取得)	日数	0	9	20	6	26	11	10	8	5	4	32	164
	人数	0	1	2	2	3	1	1	6	1	2	6	28
生徒 (施設利用)	日数	0	5	8	0	0	5	0	0	0	10	2	30
	人数	0	3	2	0	0	3	0	0	0	4	2	14
総合計	日数	0	14	28	6	26	16	10	8	5	14	34	194
	人数	0	4	4	2	3	4	1	6	1	6	8	42

(令和 5 年度 296 日、72 人)

(2) 固定資産管理係

①概要

利用者の安心・安全な生活を維持するために保守点検・環境整備・建物設備を計画して整備を実施した。隔月の定例会議にて法人全体と各施設の進捗状況を確認。庶務経理係を担当に配置したことにより収支の状況把握も確認することができた。

②重点目標に対する取り組み

ア 法人の建物設備を永く丁寧に使用するために管理、監督を行なう

- ・各施設で予算を計画した整備や購入については概ね実施することができた。補助金や積立を活用して計画していた施設も概ね終了した。法人全体で計画した整備についてはつつじハイツの整備と光電話への交換が計画に入っていなかった内容であったが実施した。計画内容では複合受信機の入れ替えのみ今年度実施。法人ネットワーク整備、恵の園図書室整備、正門改修工事を次年度以降に見送った。

③主に実施した施設整備

- ・浄化槽補修工事、事務所のエアコン購入、館内 LED 交換工事（グレイスホーム）
 - ・エアコンの入れ替え工事、パソコンの購入（あけぼのホーム）
 - ・屋上センサー交換工事、2階電子錠設置工事、エアコンの入れ替え工事、食堂前洗面所工事（めぐみの里）
 - ・DTF プリンターの新規購入（ベテル）
 - ・車いす用トイレの修繕、インボイス対応レジ、タブレットの購入、送迎車両の購入（シャローム）
 - ・玄関整備（マイーム）
 - ・空調修理、ボイラー修理、厨房給湯器修理（カナン）
- ※教会屋外掲示板、法人全体の舗装工事は検討不足で実施できなかった。

月	日	実施内容	業者
4	5	浄化槽法第 11 条検査①	県環境検査事業団
	8	簡易専用水道定期検査	県環境衛生試験センター
5	13	つつじハイツ整備（～6/14）	岡本建具店
	23	樹木消毒	身障施設で対応
6	13	浄化槽清掃（グレイスホーム、若杉寮）	渋川衛生社
	14	つつじハイツ館内清掃	アットハウスクリーン
	19	建築物防火設備点検調査（グレイスホーム、あけぼのホーム、めぐみの里、カナン）	群馬特殊建築物定期調査・検査事業協同組合
		園内樹木伐採（～7/9）	勢多造園
	26	つつじハイツ浄化槽工事	渋川衛生社
	27	2階電子錠設置工事（めぐみの里）	ライフライン株式会社
	28	屋外センサー交換工事（めぐみの里）	アルソック

7	8	1 階男性トイレ便器交換工事（めぐみの里）	萩原興業
8	7	浄化槽清掃（MGM、ベテル）	渋川衛生社
9	2	めぐみホール前排水溝修理（～4 日）	円建工
	12	浄化槽清掃（クロスホーム）	渋川衛生社
9	30	浄化槽高圧洗浄（職員研修所）	渋川衛生社
10	11	浄化槽法 11 条検査（エステル）	県環境検査事業団
	17	作業棟裏プレハブ撤去	田子商会
	23	ボイラー交換工事（職員研修所）	萩原興業
11	5	食堂前洗面所工事（めぐみの里）	萩原興業
	6	ボイラー管体洗浄（あけぼのホーム、ベテル）	藤田テクノ
	13	ボイラー管体洗浄（グレイスホーム）	日本サーモエナー
	15	浄化槽汚泥引抜（あけぼのホーム）	関東清掃社
	26	連絡通路 LED 交換（めぐみの里）	ヤマダ電機
		めぐみホールステージ奥壁修理（～30 日）	岡本建具店
	29	浄化槽法 11 条検査②	渋川衛生社
1	16	浄化槽清掃（グレイスホーム）	渋川衛生社
2	13	浄化槽清掃（MGM、ベテル）	渋川衛生社
	24	光電話への交換工事	藤田ソリューションパートナーズ
3	3	浄化槽法 11 条検査（あけぼのホーム）	渋川衛生社
	13	浄化槽清掃（ダビデホーム）	渋川衛生社
	15	受水槽清掃（身障施設、めぐみの里、カナン）	日化メンテナンス
	24	浄化槽汚泥引抜（めぐみの里、カナン）	関東清掃社
	31	複合受信器交換工事	共和消防

※浄化槽定期点検・定期清掃は、法令に則り実施。

※浄化槽法第 11 条検査（年 1 回・県環境検査事業団）は、2 回に分けて実施。

グレイスホーム、めぐみの里、カナン、シャローム

教会、ベテル、旧ベテル会議室、つつじハイツ

クロスホーム、ダビデホーム、バルナバホーム、職員研修所、若杉寮、MGM、地域交流ホーム

※簡易専用水道定期検査は、身障施設（25 トン）めぐみの里（24 トン、6 トン）、カナン（35 トン）の 3 箇所を実施。

※身障施設・めぐみの里・カナンのキュービクルは、奇数月に定期検査を実施（関東電気保安協会）

（３）防災・防犯係

①概要

9 月に土砂災害に対する業務継続計画訓練を各施設、初めて一斉に実施した。
明保野地区防災委員会では、明保野地区自警団が活動困難となったため防災委員会

から外れることとなり、新たに明保野地区自治会が加わった。新たに加わった明保野自治会と渋川消防分団にも参加していただき、あけぼのホームで明保野地区合同防災訓練を実施した。

②重点目標に対する取り組み

ア 防災面

- ・今年度より業務継続計画（以下 災害 BCP）の訓練及び研修が義務化され、法人全体で訓練を行なった他、各施設でも研修や訓練を行なった。しかし、作成された災害 BCP は法人全体の内容のため、今後、各施設の状況にあった災害 BCP を作成する。
- ・災害 BCP に福祉避難所立上の内容を追加することができなかったため、次年度も引き続き検討する。
- ・耐用年数を超えていた法人全体の火災受信機の入替工事をおこなった。

イ 防犯面

- ・明保野地区防災委員会の会議で防犯について各団体での取り組み状況を確認した。実際に訓練を行なっていたのは渋川特別支援学校のみだった。今後、地域全体で防犯に対する研修会実施などを検討していく。

③全体の取り組み事項

月	内 容
4	・緊急連絡網の更新 ・利用者状況表の更新
5	・消防設備定期点検、消火器点検（共和消防設備：7～10 日）
8	・地下重油タンク目視点検（グレイスホーム、あけぼのホーム、めぐみの里）
9	・スプリンクラー点検（正栄技研：24,25 日） ・災害 BCP 全体訓練（11 日）
10	・明保野地区防災委員会（2 日）
11	・消防設備点検、消火器点検（共和消防設備：14,15,18,19 日）
12	・消防署立ち入り検査（本部：2 日）
2	・防火対象物点検（共和消防設備：10 日） ・スプリンクラー点検：（正栄技研：10,12 日）
3	・火災複合受信機及び副受信機交換工事（2 月 21 日～3 月 31 日）

④防災訓練実施結果および各施設の取り組み事項

	訓練内容	日程（※印は施設ごとの取り組み事項）
グレイスホーム	火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間検証） 地震想定訓練 災害 BCP 訓練（1 回目）	9 月 12 日（消防署立会） 2 月 5 日（消防書立会） 3 月 19 日 11 月 20 日

	// (2回目)	3月19日
あけぼのホーム	火災想定訓練 (日中) 火災想定訓練 (夜間検証) 地震想定訓練 災害 BCP 訓練 (1回目) // (2回目)	5月30日 (消防署立会) (全体訓練) 11月5日 (消防署立会) 2月19日 7月24日 2月19日
めぐみの里	火災想定訓練 (日中) 火災想定訓練 (夜間) 火災想定訓練 (夜間検証) 地震想定訓練 災害 BCP 訓練 (1回目) // (2回目)	8月30日 (消防署立会) 1月30日 2月27日 (消防署立会) 2月28日 9月11日 2月15日
マイーム ・バルナバホーム	火災想定訓練 (日中) (夜間) 地震想定訓練 災害 BCP 訓練	7月16日 3月13日 3月13日 9月11日
・さくらホーム	火災想定訓練 (日中) (夜間) 地震想定訓練 災害 BCP 訓練	1月29日 6月28日 1月29日 9月11日
・ダビデホーム	火災想定訓練 (日中) (夜間) 地震想定訓練 災害 BCP 訓練	2月17日 6月24日 2月17日 9月11日
・クロスホーム	火災想定訓練 (日中) (夜間) 地震想定訓練 災害 BCP 訓練	2月25日 7月18日 2月25日 9月11日
・ベテル	火災想定訓練 (1回目) // (2回目) 地震想定訓練 災害 BCP 訓練 (1回目) // (2回目)	10月30日 (消防署立会) 3月26日 (全体訓練) 3月12日 9月11日 1月23日
・エステル	火災想定訓練 (1回目) // (2回目) 地震想定訓練 災害 BCP 訓練 (1回目) // (2回目)	6月24日 (消防署立会) 2月17日 (消防署立会) 2月10日 8月22日 9月11日
・シャローム	火災想定訓練 (1回目) (2回目) 地震想定訓練 災害 BCP 訓練 (1回目) (2回目)	6月28日 11月20日 3月28日 9月11日 3月26日
・カナン	火災想定訓練 (日中) 火災想定訓練 (夜間)	7月24日 (消防署立会) 3月3日 (消防署立会)

	災害 BCP 訓練	9 月 11 日
・ ゆうかり	火災想定訓練（1 回目）	7 月 24 日
	〃 （2 回目）	3 月 3 日
	災害 BCP 訓練	9 月 11 日
・ その他	明保野地区 4 施設・団体 委員会合同訓練	11 月 5 日 ※合同訓練が 5 年ぶりとなるため、 あけぼのホームの訓練を見学して 頂いた。

※防火自主点検は偶数月に実施

（４）DX 係

①概要

法人インターネット回線改修について、機器の入れ替わりのため見積が遅れた関係で、上申が遅れてしまった。また、予定していた工事よりも一つランクの高い工事ができることが判明し、予算を変更し工事を発注。機器の納品の関係で工事は次年度となった。

Google アカウントも係での使用も始まり有効的に活用が進められている。

②重点目標に対する取り組み

ア ICT の導入により、業務効率化を図る

- ・管理職会議での音声入力を試みたが、うまくいかずに継続できていない。

イ 職員への意識改革を進める

- ・Google の個人アカウントを活用している職員については、徐々にではあるが変化が見られている。

③業務計画

DX 化として以下の業務を行ない展開していく

ア 法人内の ICT 関係の整理

- ・携帯電話の機種変更や ND ソフトの使用状況を確認

イ 共有ツールの管理・更新

- ・グーグルワークスペース、オクレンジャーの整理を実施

ウ 情報の発信・共有

- ・グーグルチャット等を活用し情報共有を実施

(5) 交通安全係

①概要

運転適性検査等未実施。それでも年間の車両事故報告の件数は軽微なものが3件であった程度であり、例年と比較しても少ない状況であった。

②重点目標に対する取り組み

ア 運転適性検査や交通安全講習等を行ない、職員の交通安全意識を高める
・上記の通り未実施。

イ 日常の車両点検の実施方法を再確認し、車両トラブルを防止する
・例年通りの呼びかけと運転日報の記載について、各施設に呼びかけた。

③業務計画

ア 飲酒運転根絶のため、アルコールチェッカーと酒気帯び確認記録簿を活用する。
・各施設から提出された紙媒体をデータ化し、保存する形を取った。

イ 運転適性検査と交通安全講習を実施する。
・未実施

ウ 洗車、工具類の点検を定期的を実施する。
・各車両担当を中心に点検簿の活用を実施。

エ ホイールローダー講習の受講を計画的に進める。
・受講者なし。次年度は必要性を再確認し、状況によって受講を進める。

(6) 地域福祉係

①概要

10月には、ふれあいボウリング大会へ参加した。五常光産様のご好意により、千花有黄さんのコンサートの受け入れを行なった。また、5月・8月・11月・2月に榛名女子学園の奉仕活動の受け入れを行なった。

重点目標に掲げた「地域のボランティア団体等と連携しながら、恵の園独自の取り組みを実施する」「外部研修に参加し、地域福祉活動に対する学びを深める」については具体的な取り組みはできなかった。

②重点目標に対する取り組み

ア 地域のボランティア団体等と連携しながら、恵の園独自の取り組みを実施する
・令和3年から開始したフードパントリーについて、継続して協力を行なった。

1年間で計146品を無償で提供した。

イ 外部研修に参加し、地域福祉活動に対する学びを深める

- ・地域福祉系の会議の中では検討したが、実施には至らなかった。

③地域との交流について

- ・昨年に引き続き、明保野山車祭りは中止となった。
- ・地域サービスウィークとして、6月と11月に利用者と共に明保野地区の環境美化活動を実施した。

④講師等の派遣について

- ・榛名女子学園から介護職員初任者研修の講師の依頼があり、職員15名が講師を担当した。

⑤その他

- ・高崎パイロットクラブコンサート、Jリーグ「ザスパ草津」観戦、BCリーグ「ダイヤモンドペガサス」観戦招待は辞退した。
- ・豊秋赤十字奉仕団（旧豊秋婦人会）より、花の苗をいただき、各施設へ配布した。
- ・高柳歌謡教室発表会は開催されなかった。
- ・11月23日、恵の園をささえる会9名のボランティア活動の受け入れを行なった。

（7）広報係・魁

①概要

一粒の麦を6月（新年度）に発行。新年号として進めていたが、原稿の関係で発行が遅れた。

また、次号についても担当者との連携がうまく行かず年度内の発行ができずに年1回の発行となってしまった。担当者会議についても担当者が集まらずほとんど開催できていない。

②重点目標に対する取り組み

ア 広報機能の強化

- ・一粒の麦の発送作業や後援会との連携を図り、遅れのないように進める。
発行担当施設との連携がうまく取れず、一つひとつの作業依頼、確認に時間を要し発行が遅れてしまった。また、管理職会議等の場でも進捗状況の発信をしなかったため、さらに対応がおくれてしまった。
- ・ホームページリニューアルと共に更新方法の検討を進める。
ホームページ、SNSの更新について、定期的に更新を実施しているが回数的には少ない状況がある。また、更新方法について個々に伝える場を設けた。

③事業内容

ア 法人パンフレットの改訂および管理

- ・印刷業者の関係で更新をすることができなかった。

イ 施設 PR パンフレットの改訂および管理

- ・法人玄関の補充を定期的 to 実施。現在、同じ書式を使用せずに施設ごとに作成中。

ウ 「施設紹介ムービー」の更新・管理と活用

- ・大きな変更はなし。

エ 「恵の園からのメッセージ」ムービーの更新・管理と活用

- ・研修や見学者来園時に使用した。

オ 「ヒストリームービー」の作成・管理と活用

- ・上申中。

カ 施設紹介パネルの更新および管理

- ・所定の場所に掲示。一部追加、修正中。

キ ホームページの更新および管理

- ・各施設の行事、求人情報等を随時更新した。また、フェイスブック、インスタグラムの更新も同時に実施した。

ク 恵の園ニュース「一粒の麦」の作成および配布と管理

- ・担当施設との連携ができず発行が遅れてしまった。
- ・新年号：6月27日発行

ケ 職場啓発ポスターの掲示および管理

- ・会議を定期的 to 開催できず、2ヶ月に一度のローテーションができなかった。

<人事部>

(1) 採用係

①概要

慢性的に夜勤のできる職員不足が続き、今年度も夜勤職員の確保を中心に採用活動を行なった。各団体の就職説明会に積極的に参加したが、直接採用には繋がらなかった。また、問い合わせや採用見学の段階でのキャンセルも多かった。今後も人材確保に向けた取り組み（特に夜勤のできる職員確保）は継続していく必要がある。

②重点目標に対する取り組み

ア 人材の確保と定着

- ・今年度 40 名の応募で 35 名と面談を実施し、14 名の採用に繋がった（正職 6 名、契約職 8 名）。
- ・ハローワークの紹介から 7 名の採用に繋がった。
- ・紹介会社から 3 名の採用に繋がった（正職員 1 名、契約職員 2 名）。
- ・各団体の就職説明会に随時参加したが、今年度は採用に繋がらなかった。
- ・外国人介護人材については、今年度新たに 11 名を採用し、2 名の契約職が契約終了となった。（現在 5 か国 15 名が入職し、4 施設で勤務中）

(2) 人材育成係

①概要

障害者雇用やシニア雇用向けの研修を新たに実施した。
また、外国人介護人材向けの「語学力アップ研修」「介護福祉士国家試験対策」の案内をし、講座申込のためのバックアップを行なった（費用の補助も含む）。

②重点目標に対する取り組み

ア 「より良く」のために成長を続ける職員の育成・定着に力を入れる

- ・新たに障害者雇用やシニア雇用向けの研修（労災予防）を実施した。
- ・3 年目の職員向けの研修は、準備不足で実施ができなかった。

イ 障害者雇用やシニア雇用など、職務能力に制限があり一定の配慮が必要な職員の成長を促すための仕組みづくりを構築する

- ・新たに「T3：業務振り返りシート」を作成し、本人の目的・意欲・能力に沿った目標設定をするように変更した。

ウ 外国人介護人材のための「介護福祉士国家試験対策」を行ない、定着を図る

- ・新たに「語学力アップ研修」「介護福祉士国家試験対策」の案内をし、講座申込のためのバックアップを行なった（費用の補助も含む）。

- ・「外国人材拡大プレイス」のセミナーに参加し、他法人の好事例などを取り入れるようにした。

エ キャリアパスを再整理する

- ・11月に上申をしたが内容が十分ではなかったため、完成には至らなかった。

③実施研修

ア 法人内研修

- ・理事長研修（講師：山田理事長）

月	日	内 容
1	31	恵の園の人材確保の強化のために（対象：人事部）

- ・管理職研修会（講師：山田名誉会長）

月	日	内 容
7	19	時代の変化についていけるか
3	14	福祉における「不易の流行」について

- ・指導職研修会（講師：山田名誉会長）

月	日	内 容
6	14	福祉の曲がり角に立って
11	18	人は石垣 人は城 ～職員あつてこそその福祉事業

- ・一般職研修会（講師：山田名誉会長）

月	日	内 容
5	20	自分自身への投資を怠るな ～自己啓発の一手段として
10	18	絶望、克己、希望、勝利

- ・全体研修会、テーマ別研修会

月	日	内 容	講 師
6	28	シニア世代研修 「労災予防～腰痛予防と体力測定」	亀井 PT、松岡栄養士、藤巻
7	4	心肺蘇生法（AED使用）	渋川消防署
7	16,18	外国人研修	外国人介護人材チーム
8	23	T3研修（障害者雇用、シニア世代） 「「労災予防～腰痛予防と体力測定」	障害者雇用チーム、亀井 PT
11	18	感染症対策（講義） 「秋から冬にかけて流行する感染症」 ～恵の園で行なえる予防と対策～	産業医 井口千春医師
1	21	人事労務の勉強会 改正育児介護休業法とフリーランス新法 (対象：事務員、管理者)	社労士 中島陽子氏

- ・現任研修会

各施設にて年間11回実施

4 月には全施設で虐待防止に関連する研修を実施

・役職研修（指導職研修）

月	日	内 容	講 師
1	22,29	指導職が抱える業務上のコミュニケーションの課題と解決策	人材育成 煌 皆川さゆり氏
2	12,26		

・中堅職員研修、リーダーズアカデミー：企画せず

・令和 6 年度 新任職員研修

月	日	内 容	講 師
4	1～4	新任職員研修	山田理事長、各施設長他
	19	恵の園の原点を仕事にいかす	山田名誉会長
7	4	フォローアップ研修①	人材育成係
3	3	フォローアップ研修②	人材育成係

・令和 6 年度 中途採用者への新任職員研修

月	日	内 容	講 師
11	22,25,26	新任職員研修	山田理事長、各施設長他
3	10	フォローアップ研修①	人材育成係

イ 法人外研修

- ・施設毎に種別団体の研修、群馬県社会福祉協議会、経営青年会、強度行動障害、ぐんま D W A T、外国人介護人材の受け入れに関する研修などに参加。
- ・コーチング（コーチ・エイの D C D）：実施せず

ウ 見学研修

- ・茨城県の社会福祉法人「ユーアイ村」（県経営青年会主催：近藤副部長）

エ 自己啓発の推進

- ・「職務免除制度」を活用し、職員 1 名が社会福祉主事の資格取得をした。

オ 専門医等による研修

- ・群馬県働き方改革推進支援センターの「ワン・ストップ無料相談」を活用し、育児介護休業法の勉強会を実施した。次年度以降も継続する。

カ 赤城教育セミナー開催準備

- ・検討できていない。

キ リンクアンドモチベーション

- ・2 回のサーベイを実施した。（第 8、9 回）
- ・サーベイ結果をもとに各施設でアクションプランを作成し、管理者を中心とした組織単位の振り返りを実施している。
- ・先方とは定期的にオンラインによる打ち合わせを実施し、助言を受けている。（窓口は近藤副部長）

(3) 安全衛生委員会

①概要

安全で快適な職場づくりの取り組みとして、労働災害防止や感染症予防の啓発ポスターを掲示し、オクレンジャーでも配信した。腰痛対策として、腰痛ベルト・アシストスーツ・移乗用リフトをレンタルし試行した。労災事故は 4 件発生した（昨年度 10 件）。

②重点目標に対する取り組み

ア 「感染症予防」の徹底を継続する

各施設の玄関に「感染症予防」の注意喚起のポスターを掲示した。

各施設内に労働災害や感染症予防の啓発ポスターを掲示し、オクレンジャーでも配信した。

安全衛生委員会の会議で、各施設の感染状況や対応方法を確認した。

イ 「安全・安心の労働環境」を構築する

「生き生き健康事業所宣言」恵の園独自の取り組みとしてヨガ教室を継続開催した。

協会けんぽのメールマガジンを管理職回覧した。

深夜業健診・35 才未満健診の日程や回数を検討した

腰痛防止のベルト・移乗用アシストスーツ・移乗用リフトをレンタルし、希望のあった施設で試行した。

・年間報告

月	日	内 容
6	28	シニア研修（65 歳以上対象に労災予防、体力測定を実施） ヨガ教室
7	9	深夜業従事者の健康診断（三愛クリニック） この日に受診できなかった職員は、三愛クリニックで受診した。
8	23	T3 研修（障害者雇用対象に労災予防、体力測定を実施）
10	17～24	ストレスチェック（マインメンタルヘルス研究所）
11	8	全体研修「感染症予防について」（井口産業医）
1	23	35 歳未満職員（週 30 時間以上）の健康診断（三愛クリニック） この日に受診できなかった職員は、井口医院で受診した。

・労働災害

発生日	施 設	内 容
7 月 6 日	めぐみの里	利用者が後ろにもたれかかり一緒に転倒（頭部裂傷）
9 月 11 日	ベテル	作業時、タンスを持ち上げた際に腰を痛めた。 （腰椎椎間板症、腰部挫傷）
1 月 27 日	ゆうかり	倒れそうになった利用者を支えた際、腰を痛めた。 （急性腰痛症）

＜その他の係＞

(1) 支援向上委員会

〔虐待防止委員会・身体拘束等廃止委員会〕

① 概要

前年度の「虐待事件」に対して、研修等を計画し全施設で取り組みように対応した。その他にも虐待に至る原因を探るために支援向上委員会独自で検討しテーマを決め対応について検討することができた。しかし、作成までで実際に研修を実施することはできなかった。

② 重点目標に対する取り組み

○ 支援向上（虐待防止・身体拘束共通）

ア 「支援向上指針」を周知・実践していくための方法を構築していく

イ 職員の資質向上を図る

・基礎研修を実施する。

・各取り組み内容の発表の場を設け、共有化を図っていく。

○ 虐待防止

ア 各施設で虐待防止の取り組み内容をあげ、1年間実践していく

・「セルフチェックリスト」で出された課題に取り組んだ。

イ 「セルフチェックリスト」を年2回実施し課題を改善していく

・予定通り2回実施できた。

○ 身体拘束

ア 身体拘束「ゼロ」を更に推し進めるためのシステム作りを行なう

イ 身体拘束「ゼロ」に向けて、実践施設の見学を行なう

③ 業務計画

ア 4月の虐待防止月間において、各施設での1年の取り組みを確認する。

イ 半年に1回「仕事の基本セルフチェックリスト」の実施及び改善。

ウ 外部研修の実施。

エ 第三者評価受審を計画的に進めていく

④年間予定

月		内 容	研 修
4	虐待防止月間	・セルフチェックリスト実施	虐待研修実施
11		・セルフチェックリスト実施改善内容実施	
12		・身体拘束まとめ	

(2) 職場環境改善委員会

①概要

職場環境要件一覧の作成を進める中で各施設の課題の洗い出しや認識の違い等を会議の中で検討し擦り合わせることができた。年度内に職場環境要件一覧を完成させ処遇改善加算の申請書類として活用した。現場の課題の見える化の表作成や全職員への周知、研修の実施までには至らなかった。

②重点目標に対する取り組み

ア 委員会の活動を定着させる

- ・毎月の会議が定着したため次年度より隔月に変更した。

イ 各施設の業務の洗い出しを行ない、課題を抽出し改善に取り組む

- ・福祉・介護職員等処遇改善加算の職場環境等要件の 28 項目を事業所毎に作成し現状の取り組み状況が解るように一覧とした。現場の課題の見える化については現状と改善策を別表で作成し会議にて取り組み状況を報告し更新を進めた。

③業務計画

ア 月 1 回の会議を 5 月から実施。(計 11 回)

定例会議実施日	
① 5 月 31 日	⑦ 11 月 25 日
② 6 月 24 日	⑧ 12 月 16 日
③ 7 月 30 日	⑨ 1 月 28 日
④ 8 月 26 日	⑩ 2 月 25 日
⑤ 9 月 30 日	⑪ 3 月 17 日
⑥ 10 月 28 日	

(3) 公益的取り組み

①概要

明保野地区の住民の方を対象に介護予防リーフレットを発行した。また法人のホームページを利用し、公益的な取り組みの実施状況等について発信した。

②重点目標に対する取り組み

- ア 地域とのつながりを図り、地域ニーズの把握を強化。さらに居住支援など新たな取り組みについても検討を進める
 - ・居住支援等についての情報収集を行なったが、具体的な取り組みはできなかった。
- イ 法人の事業方針に準じた取り組みを行なう
 - ・昨年度に引き続き、住み慣れた環境で安心して生活を送れるよう、「予防も福祉」という視点を持って、地域の回覧板を活用し、恵の園独自で作成したリーフレットで情報提供を行なった。

③社会福祉に関する教育活動や情報提供

- ア 世界の子供にワクチンを送る支援の協力のため、ペットボトルのキャップの収集を継続した。
- イ 福祉体験学習及び職場体験活動については、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。
- ウ 榛名女子学園の介護職員初任者研修に講師 15 名、23 日間派遣した。
- エ 福祉系専門学校及び大学の学生さんの資格取得に向けた現場での実習を、延べ 28 名、164 日間に渡り受け入れた。
- オ 福祉・教育・医療分野の広報誌「魁」を年 4 回、毎回 3,000 部発行し、一般の方々へ福祉啓蒙活動を行なった。

④福祉サービス対象外の方への支援

- ア 通院・入院が困難なの方々に対して、職員が同行し、手続きや入院中の支援を行なった。
- イ 障害特性等で地域生活が困難な利用者 1 名に対して、職員寮を安価で提供し、生活全般の支援を行なった。

⑤地域の福祉ニーズに対する取り組み

- ア NPO 法人渋川広域障害保健福祉事業者協議会に役員 1 名が経営参加、また、職員 1 名を派遣し、渋川市の相談支援を中心としたニーズに応えるとともに相談支援事業所「ぶどうの木」と連携し計画相談や一般相談を行なった。
- イ ボランティア団体信愛えんがわカフェが主催するフードパントリーへ寄付品の協力を継続した。

⑥少年矯正事業への協力

ア 前橋家庭裁判所および高崎家庭裁判所からの補導少年の福祉現場での体験実習を受入れた。

	期間	性別	人数		期間	性別	人数
1	2/19～21（3日間）	男	1				
				計	1人（3日間）		

（令和5年度 1人）

イ 榛名女子学園の園生の福祉現場での奉仕活動については、年4回受け入れを行なった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	0	6	0	0	1	0	0	5	0	0	5	0	17

（令和5年度 7人）

⑦災害時における要配慮者への支援

ア 地域の方々が災害時・遭難時など食物・飲用水の入手が困難な場合に備えるため防災備蓄食の在庫の確認を行なった。

令和6年度

施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

種 別	施 設 名 称
障 害 者 支 援 施 設	グ レ イ ス ホ ー ム
障 害 者 支 援 施 設	あ け ぼ の ホ ー ム
障 害 者 支 援 施 設	め ぐ み の 里
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	カ ナ ン
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	マ イ ー ム
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	ベ テ ル
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	エ ス テ ル
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	シ ャ ロ ー ム
デ イ サ ー ビ ス	ゆ う か り
相 談 支 援 事 業	ぶ ど う の 木
居 宅 介 護 支 援 事 業	シ オ ン の 丘
収 益 事 業	オ リ ー ブ

目 次

第1章 年間行事、集会等	1
第2章 会議・研修・集会等一覧	3
第3章 入所系サービス	
1. グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	5
2. あけぼのホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	10
3. めぐみの里〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	16
4. カナン〔特別養護老人ホーム・短期入所生活介護〕	22
5. マイーム〔共同生活援助事業〕	30
第4章 通所系サービス	
1. ベテル〔就労継続支援事業B型〕	32
2. エステル〔就労継続支援事業B型・生活介護事業〕	36
3. シャローム〔就労継続支援事業B型〕	40
4. ゆうかり〔通所介護・予防介護〕	43
第5章 相談支援サービス	
1. ぶどうの木	45
2. シオンの丘	47
第6章 収益事業	
1. オリーブ	48

第1章 年間行事、集会等

(法=法人、B=ベテル、GH=グレイスホーム、AH=あけぼのホーム、里=めぐみの里、エ=エステル、シャ=シャローム、さ=さつき、マ=マイーム

カ=カナン、ゆ=ゆうかり、ぶ=ぶどうの木、シ=シオンの丘、高=高齢者施設)

月	合同行事	施設別行事	研修会・集会・会議	その他
4	辞令交付式 1日	お花見(各施設で実施)	現任研修1回(各施設で実施) 新任職員研修 1～4.18日 創立の精神を学ぶ集い 22日	チャイの日 14日
5		家族懇談会(GH.シャ.マ) 11日 新緑ドライブ(ゆ)29.30.31日 キラキラレク(知的) 29日	現任研修1回(各施設で実施) 経営会議 7日 創立の精神を学ぶ集い 11日 役職研修 14日 監事監査 17日 一般職研修 20日 理事会 22日	
6		県実施指導(カ) 18日 親笑レクリエーション(身障) 19日 家族懇談会(AH) 29日	現任研修1回(各施設で実施) 評議員会 11日 指導職研修 14日 故人を偲ぶ会 17日 シニア研修 28日	職員旅行① 13日 職員旅行② 27日 職員ヨガ教室 28日
7	納涼祭 26日	家族懇談会(里) 3.10.31日 前橋七夕まつり見学(エ) 5日	現任研修1回(各施設で実施) 新任フォローアップ研修 4日 全体研修 4日 経営会議 8日 外国人研修 16.18日 運営協議会 17日 管理職研修 19日 創立の精神を学ぶ集い 29日	職員ボランティア 6日 職員旅行③ 11日
8		日帰り旅行(B) 7日 暑気払い会食会(AH) 21日 暑気払い(エ) 23日	現任研修1回(各施設で実施) 契約職員T3研修 23日	職員旅行④ 28日
9	介護職員初任者研修開講式 10日	夏祭り(カ) 4日 日帰り旅行(シャ) 6日 旬味祭(GH) 20日 ゆうかりカフェ(ゆ) 26日	現任研修1回(各施設で実施) 経営会議 9日 理事会 18日 創立の精神を学ぶ集い 21日	職員旅行⑤ 12日 職員旅行⑥ 25日
10	創立記念日(56周年) 20日	県指導検査(B) 1日 りんご狩り(ゆ) 14～19日 夏季レクリエーション(エ) 18日	現任研修1回(各施設で実施) 評議員会 7日 一般職研修 18日	職員旅行⑦ 10日 職員旅行⑧ 24日

		秋を楽しむ会(カ) 30日	創立の精神を学ぶ集い 21日 永年勤続職員表彰 21日	
11	チャリティバザー 9日	日帰り旅行(B) 7日 秋の大運動会(カ、ユ) 14日 日帰り旅行(エ) 22日	現任研修1回(各施設で実施) 全体研修 18日 指導職研修 18日 創立の精神を学ぶ集い 18日 経営会議 19日 中途職員研修 22.25.26日	職員ボランティア 2日 職員旅行⑨ 13日 恵の園を支える会ボランティア 23日
12	クリスマス集会 24日 仕事納め 27日	年末会食会(AH) 4日 会食会(エ) 18日 クリスマスティーパーティー(里) 24日 慰労会(B) 27日 慰労会(シヤ) 27日 忘年会(ゆ) 30日	現任研修1回(各施設で実施) 理事会 12日 創立の精神を学ぶ集い 16日	
1	仕事始め 4日	新年会(GH) 8日 運営実施指導(マ) 10日 運営実施指導(シヤ) 14日	現任研修1回(各施設で実施) 創立の精神を学ぶ集い 11日 経営会議 20日 社労士による育児介護休業等研修会 21日 外部講師によるチーフ研修 22.29日 人事部への理事長研修 31日	
2			現任研修1回(各施設で実施) 創立の精神を学ぶ集い 15日 理事会 28日	
3			現任研修2回(各施設で実施) 新任フォローアップ研修 3.10日 経営会議 10日 管理職研修 14日 創立の精神を学ぶ集い 17日 評議員会 19日	職員壮行会 24日

第2章 会議・研修・集会等一覧表

各施設の会議及び集会、研修について下記のとおり実施した。

(1) 会議・集会等

	会議等の種類	曜日・回数等	時 間	場 所	出席の範囲
会 議	経営会議	隔月	13:30～15:30	めぐみの里会議室	理事長、施設長
	管理職会議	毎週火曜日	10:10～12:00	めぐみの里会議室	施設長、副施設長
	チーフ会議	第2火曜日	13:00～14:00	めぐみの里会議室	チーフ(各部署から1名)
	地域福祉係会議	第1金曜日	14:10～16:00	めぐみの里会議室	地域福祉係担当者
	人材育成係会議	第2金曜日	14:30～16:00	めぐみの里会議室	人材育成係担当者
	広報係会議	第4金曜日	14:00～16:00	めぐみの里会議室	広報係担当者
	防災防犯係会議	第2水曜日	14:10～16:00	めぐみの里多目的室	防災係担当者
	安全衛生委員会	第2金曜日	13:30～14:30	めぐみの里会議室	安全衛生管理監督者、衛生管理者、産業医、担当職員
	D X 係会議	第2木曜日(奇数月)	14:10～15:00	めぐみの里会議室	D X 係担当者
	固定資産管理係会議	隔月	14:10～15:00	めぐみの里会議室	固定資産管理係担当者
	支援向上委員会	第3金曜日	14:10～16:00	めぐみの里会議室	支援向上委員担当者
	ベテル会議	第4木曜日	16:00～17:00	赤蜻蛉	施設長、所属職員
	グレイスホーム会議	月2回木曜日	14:00～16:00	グレイスホーム職員室	施設長、所属職員
	あけぼのホーム会議	毎月1回	14:00～16:00	あけぼのホーム職員室	施設長、所属職員
	めぐみの里会議	毎月1回	14:00～16:00	めぐみの里多目的室	施設長、所属職員
	シャローム会議	毎月1回	16:00～17:30	シャローム職員室	施設長、所属職員
	エステル会議	第3木曜日	16:00～17:00	エステル職員室	施設長、所属職員
	知的障害者施設 給食会議	第3木曜日	13:00～14:00	めぐみの里会議室	栄養士、給食担当者、業務委託者他
	バルナバホーム会議	隔月1回	9:30～11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	さくらホーム会議	隔月1回	9:30～11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	クロスホーム会議	隔月1回	9:30～11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	ダビデホーム会議	隔月1回	9:30～11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	ぶどうの木会議	第3水曜日	10:00～12:00	ぶどうの木相談室	施設長、所属職員
	カナン会議	第1.3水曜日	10:30～12:00	カナン会議室	施設長、所属職員
	ゆうかり会議	第3火曜日	14:00～16:00	カナン相談室	施設長、所属職員
	庶務・経理係会議	第1水曜日	10:00～12:00	庶務・経理事務室	総務部長、所属職員
	身体障害者施設 給食会議	第3水曜日	14:00～15:00	グレイスホーム食堂	栄養士、給食担当者、業務委託者他
集 会 等	職員朝礼	毎日	8:40～8:50	合同事務所	全職員
	全体朝礼	毎週月曜日	8:55～9:10	あけぼのホーム前広場	身体障害者施設利用者、職員
	創立の精神を学ぶ集い	土又は月 月1回	10:20～11:30	めぐみホール	利用者、職員

(2) 研修会

研 修	管理職研修 (名誉会長による)	年 2 回	10:30~12:00	めぐみの里多目的室	管理職
	指導職研修 (名誉会長による)	年 2 回	10:30~12:00	めぐみの里多目的室	指導職
	新任チーフ研修	年 1 回	9:00~12:00	めぐみの里会議室	新任チーフ
	新任職員研修	年 1 回	9:00~20:00	カナン地域交流室	前年度中途採用職員、新任職員
	新任職員研修 (フォローアップ研修)	年 2 回	9:00~12:00	カナン地域交流室	前年度中途採用職員、新任職員
	現任研修 (一部役職研修含む)	年 15 回	各部署で設定	各部署	理事長、管理職、指導職、一般職他
	全体研修	年 2 回	17:45~19:00	めぐみの里多目的室	管理職、指導職、一般職員

第3章 入所系サービス

1. グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕

(1) 概要

介護保険への移行が2名、ご逝去が2名と利用者数は減少。待機者は継続していない状況のため、年度末で短期入所の定員を空所型に変更した。新型コロナウイルスが7月～9月にかけて施設内にまん延した為、全体での外出支援が出来なかった。

施設の老朽化に伴い、利用者の生活空間の整備を実施。居室エアコンとベッドの購入をした。

利用者の高齢化に伴い、余暇時間を充実させられるよう創作文化活動や入浴支援の調整に力を入れた。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性 別	支援機関	入所日	性 別	支援機関
7月10日	男性	足立区	なし		
9月12日	男性	千葉県銚子市			
12月19日	男性	江戸川区			
12月31日	男性	吉岡町			

(3) 重点目標に対する取り組み

①利用者支援の向上を目指す

- ・現任研修を通して、介護技術の向上、基本方針の確認を行なった。
- ・外部研修では接遇・権利擁護・高次脳機能障害の研修に参加した。
- ・モニタリング時に就労や地域移行の確認を実施。利用者によっては通所先への回数を増やした。

②老朽化した箇所の整備をし、心地よい生活環境を維持する。

- ・東屋の解体は高額のため見送り。喫煙所は副流煙の観点から中庭へ移動した。
- 浄化槽修繕と館内のLED交換に積立金を使用して対応した。

(4) 利用者支援

①生活介護・施設入所支援

ア 生活支援

- ・地域移行や就労移行への確認実施。就労については日数を増やす対応をした。介護タクシーを利用した個別外出支援を実施。本人達のニーズに合わせた外出先を選んだ。会食会は自治会と相談をし、工夫しながら旬な食材を提供した。

イ 機能訓練

- ・機能訓練を断続的に実施。訓練時間外でも自主的に行なう利用者が増えた。
- ・理学療法士と連携し、生活の中で実施できる訓練内容をケース会議やリハカンファレンス等で検討し日常的に実施した。

ウ 創作・文化活動

- ・料理クラブ「ぴあっと」を月 1 回から 2 回実施。人数が多い際は回数を増やして実施した。
- ・創作活動も「季節を感じる」をテーマに年間計画を立てて計画的に実施できた。創作物の作成も取り組むことができ、季節感を演出できた。

エ 生産活動

- ・封入作業の参加率は増加中。作業工程の内容及び発送までの日数調整を来年度の課題とする。

オ 医務面

- ・定期的な検査・健康診断を行ない、異常が見られた利用者には医師の指示を仰ぎながら健康の維持管理を図った。
- ・生活支援員と看護師で連携をとり、体調不良の利用者の早期発見、早期対応を行なった。
- ・令和 6 年 7 月 1 名、8 月に 10 名、11 月に 1 名がコロナウイルスに感染。保健所と連携を取りながら拡大防止に努めた。
- ・利用者の疾病に対し病院と連携し、状況に応じて緩和病棟・看取り病棟への移行を行なった。
- ・年間報告

月	項 目	内 容
5	利用者採血	(株) BML 28 名
6	利用者前期健康診断	嘱託医：利用者 24 名
7	深夜業従事者健康診断 利用者レントゲン撮影・採血	三愛クリニック（職員 8 名） 利用者 27 名
10	利用者定期結核健康診断	渋川保健福祉事務所
11	インフルエンザ予防接種	利用者 23 名職員 13 名
12	利用者後期健康診断	嘱託医：利用者 24 名
1	35 歳未満健康診断	三愛クリニック（職員 4 名）
3	コロナワクチン接種	利用者 19 名、職員 1 名
※生活習慣病予防健診（35 歳以上の職員） 15 名		
※訪問歯科実施（オーラルケア前橋デンタルクリニック：毎週火曜日）		

・通院状況（延件数）

内科	外科	歯科	耳鼻科	皮膚科	眼科	神経科	泌尿器科	整形外科	脳外科	循環器科	呼吸器科	他	合計
126	12	0	12	39	18	88	69	37	16	13	4	2	436

（令和5年度 474 件）

・園内治療状況（延人数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
677	772	677	619	549	421	711	534	582	638	671	617	7,458

（令和5年度 7,555 人）

・医師診察状況（延人数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
12	11	24	15	13	14	10	34	25	11	12	40	221

（令和5年度 287 人）

・訪問歯科（延人数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
26	26	27	20	20	16	28	16	20	28	29	25	281

（令和5年度 297 人）

・入院状況

氏 名	病 名	入院期間	病 院
K.I.	食欲不振	R5.12/25～2/16	北毛病院
K.I.	食欲不振	2/16～7/10	榛名病院
K.I.	胆嚢炎	2/29～4/10	渋川医療センター
K.T.	肺炎	3/27～9/12	北毛病院
T.K.	肺炎	3/30～4/30	北毛病院
T.N.	胆管炎	7/18～8/1	渋川医療センター→太田記念病院(7/20～)→渋川医療センター(7/25～)
T.K.	発熱	8/18～9/11	北毛病院
T.S.	コロナウイルス	8/22～9/2	渋川医療センター
Y.Y.	コロナ、食欲不振	8/30～9/26	北毛病院
M.M.	肺炎	9/14～9/30	北毛病院
T.N.	胆管炎	9/30～10/11	渋川医療センター
T.N.	誤嚥性肺炎	10/28～11/11	渋川医療センター
T.N.	肺炎	11/15～12/19	渋川医療センター
K.F.	統合失調症	12/2～1/31	榛名病院
T.K.	肺炎	2/2～R7 4/14	渋川医療センター

カ 食事面

- ・利用者個人の健康状態や嚥下機能等に合わせて食形態を検討し提供した。
- ・食事の介助、見守りが必要な利用者が増加。食席の交換を行ない、安全な食事環境を提供することに努めた。
- ・委託業者のもと、テーマ毎のイベント食、選択メニューなどを定期的に提供した。

②年間行事報告

月	日	内容	月	日	内容
4	11	花見（旬味祭）	10	6	障害者スポーツ大会
6	19	親笑レク	12	24	クリスマス集会
7	26	納涼祭	1	8	自治会主催新年会
9	12	日中想定避難訓練	2	5	夜間想定避難訓練
9	20	旬味祭（自治会主催バーベキュー）	2	26	旬味祭（冬の味覚）
10	4	ふれあいボーリング	3	19	地震・風水害防災訓練

③建物設備整備状況

月	内容	月	内容
4	女性トイレ洗面台下排水管交換工事 利用者居室シンダー交換	10	利用者居室エアコン交換 4台
5	シュレッダー設置、浄化槽マンホール工事、粗大ゴミ回収、段差解消機ポール交換	11	エアコンパネル交換 ボイラー点検 プリンタ部品交換
6	職員室エアコン交換 1台 館内・厨房 LED 交換	12	消防立入調査
7	厨房コンセントカバー設置	2	スプリンクラー点検
8	浴室機器点検 浄化槽・放流ポンプ計量ポンプ交換	3	受水槽清掃 ハイゼット車検
9	利用者居室ベッド購入 1台		

（５）短期入所事業

①概要

新規利用者の入所前体験利用や相談支援事業所と連携をとりながら福祉施設としてのサービスが必要な方の受け入れ対応をした。安全に利用できるよう食事状況・バイタルチェックの確認を強化した。

②年間利用状況

支援機関	実利用者数	性別	延べ利用回数及び日数	
沼田市・渋川市	2名	男性	19回	84日

利用稼働率：23.0%（前年度 2.1%）

③重点目標に対する取り組み

- ア 個別支援計画を本人・家族の希望や意見を確認しながら作成した。必要時には相談支援事業所や利用している通所作業所等にも話しを伺った。本人にとって安心、安全な生活が送れるよう声掛けを行なった。
- イ 利用希望や施設見学の連絡を受けた際には、見学に来て頂けるように働きかけ、利用にあたっての相談等を行なった。

2. あけぼのホーム〔生活介護・施設入所支援事業〕

（1）概要

新型コロナウイルスに罹る利用者・職員も数名いたが、施設全体に拡大することはない。面会や外出は、飲食をしない形で継続した。家族懇談会を再開し 11 家族 20 名が参加した。あけぼのホーム建て替えについては、株式会社新環境設計との検討を継続し、他施設を見学した。また、石川県能登の震災対応として、災害派遣福祉チーム(DWAT)に職員 1 名を派遣した。

（2）年間退所・入所状況

退所日	性 別	実施機関	入所日	性 別	実施機関
9 月 17 日	女 性	葛飾区	10 月 30 日	男 性	江戸川区
9 月 25 日	男 性	府中市	2 月 10 日	女 性	練馬区

（3）重点目標に対する取り組み

①建て替えに向けた検討を開始する

- ・株式会社新環境設計との打ち合わせを継続した。4 つの施設（立川療護園、大泉障害者支援ホーム、光福、陽光）を見学した。また、設計図案について職員にアンケートをとった。利用者にも、居室の形態などについての希望を聞き取った。

②利用者支援の向上を図る

- ・日中活動として、音楽ボランティアの導入、傾聴ボランティアと将棋ボランティアは、毎月継続した、
- ・個別支援として外出支援を継続し、介護タクシーの利用も再開した。
- ・NPO 法人はあとらんどとオンブズマン契約を交わし、様々な視点で利用者からの聞き取りをすすめた。また、今後の生活（住まいの場所など）や延命についてサービス管理責任者を中心に丁寧に聞き取った。
- ・現任研修は、担当職員が研修動画を作成し全職員が視聴した

（4）利用者支援

①生活介護・施設入所支援

ア 生活支援

- ・モニタリングや個別支援計画会議等は、サービス管理責任者と担当職員の勤務に合わせて開催した。
- ・事故、インシデント、ヒヤリハットは、その都度、検討し再発防止を含めた対応を全職員に周知した。
- ・傾聴ボランティア、将棋ボランティアを毎月 2 回ずつ継続した。リトミック、一粒

の会、手芸会、文芸同好会も継続した。

イ リハビリテーション

- ・多職種で利用者の機能維持について検討した。リハビリ計画を6か月ごとに作成し、プログラムを個別に実施した。
- ・楽しみながら身体を動かすメニューとしてレクリエーションを月に1～3回程度実施した。内容はフライングディスク・ボッチャ・ソフトボール投げなど。

ウ 健康管理

- ・毎日の検温に加えて、特に配慮が必要な利用者は、血圧測定、酸素飽和度の測定も継続した。また、入退院を繰り返す利用者に対しては、申し送りや連携を密接にして、状態の観察に努めた。
- ・感染症対策委員会を中心に、感染対策を検討し対策を講じた。また、外部の感染症対策研修にも参加した。
- ・救急搬送時用として施設入所者情報シートを更新した。その際、利用者・家族に延命処置について確認をした。
- ・訪問歯科と治療方針について打合せを続けた。施設内での治療が難しい場合は、県歯科センターでの治療をすすめた。
- ・各月状況

月	内 容
5	感染症対策委員会 胸部X－P（利用者）
6	健康診断・採血（利用者）
7	感染症対策委員会 健康診断・聴打診（利用者） 深夜業従事職員健康診断（職員）
9～2	生活習慣病予防健診（職員）
10	感染症対策委員会 歯科検診（群馬県歯科センター）
11	インフルエンザ予防接種実施（利用者・職員）
1	耳鼻科検診（川島耳鼻科） 35歳未満職員健康診断（職員）
2	感染症対策委員会
3	コロナウイルスワクチン接種（利用者）

・通院状況（延べ人数）

内科	外科	耳鼻科	眼科	皮膚科	神経科	泌尿器科	呼吸器科	脳外科	整形外科	循環器科	神経内科	精神科	婦人科	合計
46	27	1	6	13	0	119	0	15	36	21	9	20	1	314

（令和4年度 281）（令和5年度 294）

・園内治療状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
672	696	674	748	649	618	701	623	691	672	753	824	8321

（令和4年度 7,751）（令和5年度 7,035）

・医師診察状況（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	1392

（令和4年度 1,512）（令和5年度 1,512）

・入院状況

氏名	病名	期間	病院名
S.A	卵管膿腫	3/6～3/21	利根中央病院
	血友病	3/21～7/3	→群大附属病院に転院
O.J	ペグカテーテル交換	5/8～5/9	北毛病院
	尿路感染症	8/23～9/11	北毛病院
	尿路感染症	9/17～9/25	北毛病院
	脳出血	逝去	
T.H	誤嚥性肺炎	5/14～6/19	北毛病院
	ペグカテーテル交換	9/11～9/12	北毛病院
	ペグカテーテル交換	2/12～2/13	北毛病院
T.Y	誤嚥性肺炎	5/17～5/22	北毛病院
	誤嚥性肺炎	5/24～6/6	北毛病院
	急性肺炎	7/29～8/19	北毛病院
	誤嚥性肺炎	11/13～11/22	北毛病院
	肺炎	12/18～1/20	北毛病院
	肺炎	3/18～3/28	渋川医療センター
O.T	肺炎	6/2～6/24	北毛病院
	骨折の手術	10/23～11/18	サンピエール病院

G.H	ステント交換 ステント交換 ステント交換 ステント交換	6/12～6/14 9/18～9/20 12/18～12/20 3/26～3/28	渋川医療センター 渋川医療センター 渋川医療センター 渋川医療センター
N.T	検査入院（肺がん） 原発性肺がん	6/26～9/17 逝去	渋川医療センター
O.T	検査入院（心臓カテ ーテル） 腹部大動脈瘤手術 狭心症の手術	7/29～7/31 8/21～9/13 12/10～12/13	北関東循環器病院 北関東循環器病院 北関東循環器病院
H.K	蜂窩織炎	9/4～9/9	関口病院
M.Y	誤嚥性肺炎	9/26～1/21	北毛病院
O.M	尿路感染症	10/23～11/1	有馬クリニック
M.I	尿路感染症	1/23～2/3	渋川医療センター
O.T	肺炎	3/9～	北毛病院
M.H	新型コロナウイルス	3/17～3/28	渋川医療センター

入院日数（令和４年度 1,005）（令和５年度 1,156）（令和６年度 583）

・訪問歯科状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
61	65	68	66	58	39	50	49	63	64	53	51	687

（令和４年度 708）（令和５年度 679）

※ 令和６年度もコロナやインフルエンザの感染者がいる時期は訪問歯科を中止した。

エ 健康管理

- ・食材料費等の高騰が続き委託業者から値上げの要望があったため、年度途中で食材料費を値上げした。
- ・厨房機器の故障や不具合が続いた。経年劣化による不具合が多く、交換購入が必要。
- ・利用者に感染症が流行した際は、デイスポ食器で対応した。
- ・利用者の身体状況や嚥下機能の低下がみられる。摂食嚥下専門医や他職種と連携しつつ利用者それぞれに応じた食事提供や支援を実施した。

【常食】

令和６年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー	1,532	1,540	1,526	1,537	1,550	1,560
蛋白質	60.7	59.9	61.1	61.8	61.8	61.8
脂質	43.4	43.1	43.4	42.4	45.4	44.1
塩分	8.2	8.4	8.1	8.5	8.3	8.3

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー	1,534	1,519	1,538	1,548	1,546	1,516
蛋白質	59.0	58.3	59.1	59.8	60.6	57.9
脂質	44.1	43.7	44.7	45.0	44.7	44.6
塩分	8.6	8.2	8.2	8.1	8.1	8.2

【軟菜食】

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー	1,356	1,355	1,344	1,363	1,360	1,370
蛋白質	50.8	50.2	51.4	50.8	53.1	52.4
脂質	43.4	43.0	43.5	43.7	44.3	43.1
塩分	8.4	8.8	8.3	8.9	8.4	8.6
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー	1,345	1,359	1,361	1,368	1,366	1,335
蛋白質	50.7	50.7	50.2	51.5	51.9	49.5
脂質	42.4	43.3	43.9	44.3	43.7	43.2
塩分	8.8	8.4	8.5	8.4	8.3	8.6

②建物設備

- ・館内のトイレ、エアコン、浴室の清掃を業者に依頼して実施した。
- ・あけぼのホーム建て替え工事について、設計管理業者と検討を継続した。
- ・ベッド、パソコン、エアコン、副受信機の交換購入・工事を実施した。

③年間行事報告

月	日	内容	月	日	内容
4	10	お花見会食会	10	2	館内ワックス掛け
5	29	初夏の音楽会 (ボランティア・飯塚さん)	11	5	夜間想定防災訓練
	30	日中想定防災訓練		6	館内ワックス
6	19	親笑レクリエーション大会		13	恵の園 園内バザー
	29	施設別家族懇談会	12	4	年末会食会
7	5	ケーナ演奏会 (ボランティア・ケーナ愛好会)		24	恵の園クリスマス集会
	10	館内ワックス	1	8	ニューイヤーカフェ
	24	風水害想定避難訓練		15	新年会
	26	恵の園納涼祭		15	オンブズマン来園
				22	第三者評価 (聞き取り調査)
8	21	暑気払い	2	19	オンブズマン来園

				19	地震想定訓練
9	4 19	館内ワックス コンサート（ボランティア ・ ご近所楽団）			

（７）短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・ 女性（府中市）：入所を視野に入れて短期入所を利用したが、入所には至らなかった。
- ・ 男性（世田谷区）：入所を視野に入れて短期入所を利用したが、入所には至らなかった。
- ・ 目黒区から短期入所利用の問い合わせはあったが、短期入所の利用はしなかった。

②利用状況

〔短期入所事業〕

支援機関	実利用者数	性別	のべ利用回数	のべ利用日数
府中市	1名	女	1回	3日
世田谷区	1名	男	1回	4日
合計	1名		2回	7日

〔目黒区重度身体障害者短期入所事業委託〕

支援機関	実利用者数	性別	のべ利用回数	のべ利用日数
目黒区	0名		0回	0日
合計	0名		0回	0日

3. めぐみの里〔生活介護・施設入所支援事業〕

(1) 概要

集団感染（4月ノロウイルス、5月新型コロナウイルス、1月インフルエンザA型、2月以降風邪）が発生したため、感染が拡大しないよう嘱託医や保健所と連携を取りながら感染対策を行なった。また、2月の風邪では肺炎になる利用者が多く発生し、重症化で7名が入院した。

ぐんま強度行動障害支援者総合事業に昨年度に引き続き参画し、コンサルタントによるアドバイスを受けながら、強度行動障害者への支援について実際に取り組みながら学んだ。令和7年度も引き続き参画する。

建物設備では、屋外センサーの老朽化に伴う新規交換工事と耐用年数を超えた利用者居室のエアコンの取替工事計画を立て、1期目の工事を行なった。また、危険判断ができない利用者の安全確保のため、2階ベランダ出入り口に電気錠を設置した。食堂前洗面所が経年劣化で壊れたため、車椅子でも入れる洗面台にリニューアルした。

(2) 年間入所・退所状況

退所日	性別	実施機関	入所日	性別	実施機関
9月30日	男	福生市	1月27日	女	渋川市
1月12日	女	高崎市			
2月8日	男	前橋市			
3月16日	女	前橋市			
3月22日	女	前橋市			

(3) 重点目標に対する取り組み

①支援の向上を図る

- ・利用者支援に係る8件のマニュアルを4つブロックに振り分け、検討を行なった。年度内に2件完成した。引き続き作成を進める。
- ・インカムは、Wi-Fi電波が不安定で連絡がうまく取れなかったため、SIMカードを導入した。SIMカード導入で、職員同士の連絡がスムーズにとれるようになった。また、台数も4台追加し、職員同士が連絡を取りやすい体制を整えた。
- ・第三者評価は、9月に業者説明を行なった後、自己評価表と必要書類を1月に提出した。しかし、実地調査は専門の評価員の調整がつかず、次年度に持ち越しとなった。

②利用者の生活スタイルを見直す

- ・散策時間を設け、春秋に散策を行なった。その他活動は随時行なったが、決められた曜日や時間での活動ができていない。
- ・10月に地域移行のアンケートをご本人とご家族に実施した。利用者数名から「日中

活動の場所を別の場所にしたいと考えている」との回答があった。今後、希望があった利用者のサービス内容について検討する。

(4) 生活介護事業・施設入所支援事業

①生活支援

- ・利用者の重度化に対応した浴室改修や機械浴導入のための補助金申請を行なったが、否採択だった。改修工事が高額なため、次年度に再度、補助金申請を行なうと共に工事内容の再確認を行なった。次年度は工事を進める。
- ・ナイスハートフェアやゆうあいフェスティバル、あすなろ祭に出展する作品を各ブロックで計画的に進め、出展することができた。
- ・コロナ禍で中止していた家族懇談会を数年ぶりに実施した。4日間の日程で28家族37名が出席された。

②健康管理

- ・感染症の拡大防止に努めたが、多くの利用者・職員が感染した。今年度から開始した感染症対策委員会を中心に状況を検証し、今後の感染予防に活かす。
- ・ご家族からの要望で今年度より希望者のみ腫瘍マーカーの検査を行なった。問題のある利用者はいなかった。引き続き希望者のみ実施する。
- ・嘱託医協力の下、利用者・職員の新型コロナウイルスのワクチン接種（実費負担）、インフルエンザ予防接種を実施した。
- ・昨年度末より外部の言語聴覚士による訓練が始まり、アドバイスをいただきながら日常訓練や食事の姿勢保持等に活かすことができた。

・年間報告

月	項 目	内 容
5	利用者採血	ビーエムエルで検査
7	利用者前期健康診断 深夜業従事者健康診断 利用者定期結核健康診断	嘱託医 三愛クリニック 渋川保健福祉事務所
11	利用者後期健康診断 インフルエンザ予防接種 耳鼻科検診	嘱託医 嘱託医 川島医師
12	利用者後期健康診断 新型コロナワクチン接種	嘱託医 嘱託医
1	35歳未満職員健康診断	三愛クリニック
※	生活習慣病予防健診（35歳以上の職員）	

※毎週、嘱託医（井口Dr）が来園

※奇数月に摂食嚥下専門医（山川Dr）が来園

※毎週月・木曜日に歯科医が来園

※毎週木曜日に言語聴覚士が来園

・通院状況（延人数）

内科	外科	歯科	耳鼻科	皮膚科	眼科	精神科	泌尿器科	整形外科	脳外科	循環器科	呼吸器科	他	合計
58	4	4	10	66	22	96	97	90	32	1	4	7	471

（令和5年度 465件）

・園内治療状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
432	369	363	509	596	662	545	558	608	360	470	366	5,838

（令和5年度 5,682人）

・医師診察状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
嘱託医 2	3	3	5	8	2	0	5	5	5	7	7	52
歯科 17	28	9	50	53	46	61	45	44	13	39	43	448

（令和5年度 嘱託医 41人）

（令和5年度 歯科 537人）

・入院状況

氏名	病名	入院期間	病院
W.T	重責発作	R5/9/10～R7/2/8	北毛病院
M.S	肺炎	4/1～5/7	関口病院
Y.Y	低血糖症	4/6～4/9	関口病院
M.S	肺炎	5/7～9/30	田中病院
M.K	服薬調整	12/11～12/26	榛名病院
M.K	検査入院	12/26～12/28	高崎総合医療センター
M.K	服薬調整	12/28～1/12	榛名病院
T.M	肺炎	3/4～3/22	関口病院
O.Y	肺炎	3/4～3/16	渋川医療センター
U.H	肺炎	3/13～	北毛病院
T.S	肺炎、低血糖症	3/15～	北関東循環器病院
S.H	肺炎	3/17～	北毛病院
Y.M	肺炎、低ナトリウム血症	3/21～	北毛病院

※骨折事故：7件、裂傷事故：9件、無断外出：0件、職員労災事故：1件

③食事

・4月より材料費の値上げをしたが、下半期の物価高騰（特にお米）が著しく、エネルギーを充足させることに重点をおくことしかできなかった。微量栄養素については、充足させることが難しかった。その中でも新しいメニューを献立に入れ、利用者が少しでも楽しく食事ができるようにした。引き続き、現在の材料費の中でどのような食事ができるか検討する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー (kcal)	1,860	1,855	1,867	1,846	1,862	1,855
蛋白質 (g)	72.7	71.3	71.4	71.0	71.5	72.0
脂質 (g)	52.0	50.4	52.4	50.3	49.7	50.3

塩 分 (g)	8.8	8.9	8.8	8.8	9.0	8.7
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
エネルギー (kcal)	1,854	1,851	1,862	1,853	1,853	1,862
蛋白質 (g)	70.1	70.9	70.3	70.9	70.3	71.2
脂 質 (g)	51.5	52.3	52.2	50.3	50.5	51.2
塩 分 (g)	8.5	8.6	8.7	8.8	8.9	8.7

④年間行事報告

月	日	内容
4	7	花見
	19	Uレク
5	11	自治会集会
	29	キラキラレク（感染症流行のため不参加）
6	24	地域サービスウィーク（三角公園付近の除草作業）
	26	家族懇談会
7	3,10,31	家族懇談会
	12	Uレク
	15	自治会集会
	19	Gレク（館内消毒）
	26	納涼祭
8	1	感染症BCP
	30	防災訓練（日中想定）
9	1	自治会集会
	6	Uレク
	10	福祉パレード
	10～12	群馬ナイスハートフェア
	11	災害BCP訓練
10	4	ふれあいボウリング
	6	群馬県障害者スポーツ大会フライングディスク・五常光産コンサート
11	9	チャリティーバザー
	15	Uレク
	27	地域サービスウィーク（三角公園付近の除草作業）
12	14	自治会集会
	24	クリスマス集会、クリスマスティーパーティー
1	4	新年会
	8～10	ゆうあいフェスティバル
	30	防災訓練（夜間想定）、地震想定避難訓練
2	3	節分

	15	災害BCP訓練
	27	防災訓練（夜間検証）

※4月の家族会総会は中止した。

（５）建物設備整備状況

月	内 容
4	簡易専用水道定期検査、浄化槽 11 条検査 厨房害虫駆除、厨房冷凍庫交換、ワゴンR車検及びマフラー交換
5	ボイラーメンテナンス及び配管水漏れ修理
6	屋外センサー交換、2階ベランダ出入口電気錠設置 1階男性トイレ小便器詰まり改善工事
7	建物害虫駆除、厨房害虫駆除、利用者居室エアコン交換（12台）、 2階トイレ汚物処理槽交換、ADバン廃棄
8	デスクトップパソコン交換、日産ノート車検
9	日産ノートシフトレバー修理、ワゴンRエアコン修理
10	食堂前手洗い場改修工事、作業棟横プレハブ倉庫撤去 スマートフォンSIMカード購入、スマートフォン4台追加購入
11	2・3階連絡通路照明交換、ボイラーメンテナンス及び缶体洗浄 アトラス車検
12	ホイロローダー点検、消防署立入検査
1	しらねブロック和式トイレ撤去
2	合同事務所ハードディスク交換

※ワックス掛け：年4回実施（平成美装）

- ・前年度延期になった分のワックス掛けを令和6年4月に実施
- ・令和7年3月に風邪が流行したため、令和7年5月に改めて実施

※エレベーター点検：5,8,10,2月の年4回（東芝エレベーター）

※消防設備点検・消火器点検：5,11月（共和消防設備）

※スプリンクラー法令点検：9,2月（正栄技研）

※厨房害虫駆除：4,9月（ダスキンターミニックス）

※ボイラー保守点検：5,11月（日本サーモエナジー）※11月は缶体煤洗浄も実施

（６）短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・過去に利用実績がある利用者、入所を前提とした利用者など状況によって、短期入所の受け入れを行なった。

②年間利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	0	2	2	3	4	6	7	3	4	1	0	0

延べ日数	0	4	4	6	8	15	28	34	33	21	0	0
------	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	---	---

(7) 日中一時支援事業

①重点目標に対する取り組み

- ・恵の園の通所を利用している利用者を中心に受け入れを行なった。

②年間利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	1	0	0	3	1	2	0	1	1	0	0	0
延べ回数	1	0	0	3	1	2	0	1	1	0	0	0

4. カナン〔特別養護老人ホーム・短期入所生活介護〕

(1) 概要

今年度は22名の利用者が入所となったが、退所の利用者が21名となり、利用者数は1名増えたのみだった。退所者のうち、亡くなられた利用者は20名だった。1月にコロナウイルスのクラスター、3月には原因不明の呼吸器系の疾患が流行し、多くの利用者の身体機能の低下や入院のきっかけとなった。

(2) 年間入・退所状況

<入所>

入所日	性 別	保険者	入所日	性 別	保険者
4月3日	女性	渋川市	8月21日	女性	嬭恋村
4月8日	女性	渋川市	9月12日	男性	銚子市
4月9日	女性	渋川市	9月27日	男性	渋川市
4月16日	女性	高崎市	10月4日	女性	渋川市
5月8日	女性	渋川市	10月9日	女性	渋川市
5月27日	女性	渋川市	10月29日	男性	渋川市
6月4日	男性	渋川市	12月9日	男性	渋川市
6月21日	男性	渋川市	1月14日	女性	渋川市
6月27日	男性	渋川市	1月30日	男性	渋川市
7月31日	女性	渋川市	3月17日	女性	渋川市
8月16日	男性	渋川市	3月21日	男性	渋川市

<退所>

退所日	性 別	保険者	退所日	性 別	保険者
4月8日	女性	渋川市	11月6日	女性	渋川市
4月10日	女性	渋川市	11月17日	男性	渋川市
4月18日	女性	渋川市	12月2日	男性	渋川市
4月26日	女性	渋川市	12月4日	女性	渋川市
6月4日	女性	渋川市	12月14日	男性	渋川市
8月8日	女性	渋川市	12月21日	女性	渋川市
8月19日	女性	渋川市	1月4日	女性	渋川市
8月25日	男性	渋川市	1月18日	女性	渋川市
9月13日	男性	渋川市	2月10日	女性	渋川市
10月13日	女性	渋川市	3月23日	男性	渋川市
10月24日	男性	渋川市	3月28日	女性	渋川市

(3) 重点目標に対する取り組み

①潤いある生活を送れるような支援

- ・疥癬の予防対応をきっかけとし、ショートステイの居室を従来の場所へ変更した。結果、ショートステイ利用者の見守りや介助がスムーズにできるようになった。
- ・面会時、希望者には屋外（敷地内）での散策もできるようにした。

②利用者支援の向上を進める

- ・昨年度から引き続き、近況報告として家族宛に手紙と写真を送った。
- ・歩行器 3 台を新規購入し、使用する利用者の事故等の防止に努めた。
- ・浴室用のストレッチャーを入れ替え、更衣等の業務がスムーズに行なえるようになった。
- ・機械浴用担架のスポンジマットの交換を行ない、入浴環境を整えた。
- ・故障していたフランスベッドのリモコン機を購入し、職員が介助しやすい環境を整えた。
- ・外国人人材の夜勤について、10 月より 2 階フロアも対応できるように計画的に対応した。
- ・無資格の職員 14 名を対象に、認知症介護基礎研修を受講してもらった。

(4) 利用者支援

①介護

ア 生活支援

- ・4 月はコロナ感染や疥癬のため、季節行事や余暇活動は予定通りに行なえなかった。
- ・7 月に感染症も落ち着き、利用者、家族、他職種で話し合いながら、個々のケアプランに即した支援や行事等を実施した。
- ・5 名の職員に喀痰吸引の研修に参加してもらった。
- ・現場の支援については、インカムを活用し、フロア内での職員の連絡等がスムーズに行なわれるようになった。また、朝礼、終礼、勤務交代の申し送りもインカムを活用し行なった。

イ 虐待・身体拘束

- ・毎月 1 回、身体拘束等廃止検討委員会を実施した。
- ・8 月と 2 月に虐待防止、12 月に身体拘束廃止の現任研修を実施した。

ウ 事故防止

- ・毎月 1 回、医療リハビリ委員会を開催した。
- ・6 月と 11 月に現任研修を実施した。来年度も年 2 回の研修を継続する。

エ 看取り

- ・3月に現任研修を実施した。来年度も年1回の研修を継続する。

オ 余暇活動（創作・文化活動含む）

- ・夏祭り、敬老会、秋を楽しむ会、望年会、秋の大運動会、クリスマス、望年会、正月、節分（豆まき）、ひな祭りなど装飾や季節行事を行なった。外部ボランティアの協力のもと、リトミック（合唱）を実施。
- ・法人全体で納涼祭を開催した。

カ 生活環境

- ・利用者の安全を留意した居室レイアウトを行なった。
- ・共有部分に、創作作品や季節の飾り等を装飾した。

キ 防災

実施日	内容
7月24日	日中火災想定訓練（合同）
3月3日	夜間火災想定訓練（合同）
9月11日	風水害BCP避難訓練

②食事

ア 季節食

- ・利用者に季節の変化を感じていただけるように、旬に合わせた献立や各季節の行事に合わせた食事提供を行なった。
- ・昼食の選択メニューを月に1回取り入れ、利用者の好みを極力反映した食事を提供した。またおやつを選択メニューを実施し、利用者自身で好きなものを選んでもらえるようにした。入浴日ではない日曜日に、月に2回程度実施した。
- ・嗜好調査、入所時と6月に全員対象で実施。また利用者状況も日々変わるため、課題があった際は、その都度改善に努めた。
- ・以前からの継続で全国各地の郷土料理を取り入れた。馴染みやすいものを中心に、主菜や副菜について各都道府県の献立を少しずつ盛り込んだ。季節に合わせた食材を使用して対応出来た。昨年度に加え、郷土料理の他にご当地グルメやB級グルメを取り入れた。好評であったものは通常献立に移行し、プラスで違う郷土料理やご当地グルメを取り入れた。

イ 食形態

- ・栄養ケア計画を中心に、入所中の全利用者を対象に栄養ケアマネジメントを実施。日々の変化や利用者状況を見て、その時々合った食事形態を担当職員、他職種と相談しつつ行なえた。

- ・体調変化や義歯の不具合等、少しの変化に気がつき早めに食事形態変更の対応を行なった。

ウ 食環境

- ・音楽の好みの違い、食事中のテレビの視聴についてなどを考慮しながら環境を検討した。
- ・食席については安全面と機能面を考えた。入院や転倒等で利用者状況の変化が多くみられ、その都度担当職員を中心に検討を行なった。
- ・年明けのコロナ禍後は、食堂の使用が出来ず、ラウンジ 2～3 カ所と 1 階に分かれて食事摂取を行なった。食事環境が狭い中での食事摂取となったが、事故等なく食事の提供を行なうことができた。

エ その他

- ・金額面では年々原材料費が高騰しているため、予算範囲内で提供可能なもの、利用者に提供したいものと折り合いを考えた。手作りのものを中心に既製品も取り入れた。
- ・外出機会がなくなり、行事も大幅に削減されたため、施設内でも楽しめるようにおやつレクを実施。焼きまんじゅうを毎月提供した。
- ・感染症対策を重点的に行なった。委託業者との連携を行ない協力して対応をした。
- ・食事を絡めた行事を数回実施したが、感染症対策のために利用者と職員とが一緒に食事を摂る機会は作らなかった。また、食事場所を分けて提供した。
- ・利用者がご家族等との直接の面会が出来なくなり、楽しみが減った中でリクエスト献立や、新聞の折り込みチラシに掲載されている食事を取り入れて、献立がマンネリ化しないように工夫した。
- ・日々の状態変化を見逃さないよう、状態観察とともに、記録の確認を行なった。変化があれば早めの対応を行なった。
- ・利用者数が増えている中、なかなか一日で全員の利用者をみることは難しかったが、食事時間以外の時間も使い、日々の変化を読み取れるようにした。
- ・1月のコロナ感染中は、朝食を簡易食対応にし、全体的な配膳下膳時間の変更を実施した。またコロナ後、状態変化がある利用者が多かったので、こまめな対応を行なった。
- ・10時おやつとしての牛乳、ヤクルト、ヨーグルトの提供、全経口摂取利用者に毎日提供することが難しく、水分補給も実施出来ないことが多くなったため、朝食に毎食ヨーグルトをつけて配膳するかたちで試行した。献立上の変更も 1 月から牛乳の提供がなくなり、毎日ヨーグルト 1 つの栄養量なので、1 月から全体の栄養量平均値が変わってきており、若干減少した。ゆうかりは引き続き 10 時のおやつとしてローテーションで提供しているため、カナンについても今後の対応について検討が必要。

令和 6 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
エネルギー (kcal)	1,576	1,575	1,585	1,568	1,568	1,575
たんぱく質 (g)	59.9	59.2	58.4	59.2	59.0	59.7
脂質 (g)	36.3	34.6	36.3	36.2	35.1	35.6
塩分 (g)	8.9	8.7	8.7	8.9	8.6	8.6
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
エネルギー (kcal)	1,569	1,560	1,551	1,539	1,535	1,519
たんぱく質 (g)	59.5	58.4	57.5	57.8	58.4	56.9
脂質 (g)	34.2	34.2	31.9	32.4	31.0	31.3
塩分 (g)	8.8	8.8	9.1	8.8	8.6	8.8

③医療・リハビリ

・各月状況

月	内 容
4	特になし
5	利用者採血、尿検査
6	聴打診
7	深夜業従事職員健康診断
9	胸部レントゲン(利用者)
9～12	生活習慣病予防健診
11	インフルエンザ、コロナ予防接種(利用者・職員)
1	35 歳未満職員健康診断
3	BCP、感染症実施訓練

・通院状況（延べ人数）

内科	外科	耳科	眼科	皮膚科	精神科	泌尿器科	呼吸器科	脳外科	整形外科	循環器科	婦人科	合計
44	4	1	0	60	26	23	1	1	46	6	7	219

（令和 5 年度 177 名）

・施設内治療状況（延べ件数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1977	2140	2541	2853	2766	2393	2206	2253	1993	250	740	836	22948

（令和 5 年度 26207 名）

・医師診察状況（延べ人数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
132	141	125	137	127	96	139	138	109	40	67	111	1,362

（令和 5 年度 1496 名）

・入院状況

氏 名	病 名	期 間	病院名
S.S	急性腎盂腎炎の疑い	4/8～4/12	有馬クリニック
H.I	尿路感染症	4/12～4/22	有馬クリニック
K.T	尿路感染症	4/18～5/13	群馬中央病院
I.I	敗血症	5/24～6/3	有馬クリニック
T.S	肺炎	5/24～6/24	北毛病院
M.K	血中酸素濃度低下	5/29～6/19	北毛病院
I.I	腎臓からの尿管結石	6/12～6/28	有馬クリニック
S.T	糖尿病	6/25～7/2	有馬クリニック
K.S	透析	6/28～8/19	有馬クリニック
I.I	腎盂腎炎	7/1～7/16	有馬クリニック
M.S	脳梗塞	7/8～7/23	渋川医療センター
T.A	肺炎・心不全	9/18～10/9	北毛病院
R.A	細菌感染症	9/27～10/7	有馬クリニック
K.T	手術対応	10/8～10/21	有馬クリニック
K. M	左大腿骨折	10/11～11/12	関口病院
F.U	認知症からのてんかん	10/20～10/25	渋川医療センター
S.O	狭心症	11/11～11/14	有馬クリニック
K.I	圧迫骨折	11/29～12/26	関口病院
N.O	誤嚥性肺炎	12/2～12/16	渋川医療センター
M.A	肺炎	12/9～12/20	有馬クリニック
F.H	右大転子部骨折	12/14～1/22	関口病院
S.T	脳梗塞	1/6～1/14	有馬クリニック
A.A	左腸骨・座骨骨折	1/26～2/25	原町赤十字病院
M.A	尿路感染症	2/3～2/12	有馬クリニック
T.Y	左大腿部頸部骨折	2/10～3/3	関口病院
S.I	右踵蜂窩織炎	2/19～3/3	有馬クリニック
K.I	発熱	2/27～3/17	有馬クリニック
K.T	肺炎	3/11～3/25	有馬クリニック
M.O	肺炎	3/13～	北毛病院
T.K	誤嚥性肺炎	3/21～3/31	関口病院
T.S	肺炎	3/23～	北毛病院
M.A	尿路感染症	3/25～4/1	渋川医療センター
S.I	肺炎	3/26～	北毛病院
M.H	イレウス	3/30～4/23	群大病院

合計 34 件 （令和 5 年度 33 件）

・訪問歯科状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
34	0	43	0	43	28	29	51	46	19	43	44	380

（令和5年度 267名）

④建物設備状況

- ・汚物除去機の修理を実施。
- ・消防設備5か所の修繕を実施。
- ・居室用エアコンの室外機の修繕を実施。
- ・フロアのトイレ2カ所の水漏れの修繕を行なった。
- ・ボイラーラインポンプの交換工事及びチャッキ弁の交換工事を実施した。
- ・エレベーターブレーキチェックスイッチ等の交換工事を実施した。

⑤その他

- ・家族懇談会が新型コロナウイルス流行したため実施できなかったため、ご家族に手紙や写真を送り、利用者の日頃の様子を伝えた。また、適宜利用者の体調等の変化について電話にて連絡した。
- ・4月に予定していた春を楽しむ会は、新型コロナウイルスの流行に伴い中止とし、ラウンジ毎にレクリエーションを行なった。
- ・9月に予定していた敬老の日は、新型コロナウイルスの流行に伴い中止した。ラウンジ毎にお祝いを行なった。
- ・1月に予定していた新年会は、新型コロナウイルスが流行しクラスターが発生してしまったため、中止とした。2月にラウンジ毎にアルコールを提供し、ミニ新年会を実施した。

⑥年間計画

月	日	内容
4	17	春を楽しむ会
7	26	納涼祭
8	28	夏祭り
9	18	敬老の日
10	20	創立56周年
	30	秋を楽しむ会
11	14	秋の大運動会
12	24	クリスマス集会
	26	望年会
1	8	新年会

(5) 短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・1月は、コロナクラスター発生のため受け入れを中止し、利用中の方のみの利用とした。

②利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	29	24	23	26	31	25	32	36	35	17	38	39
利用率(%)	96.6	88.3	77.3	80.6	95.4	82.0	76.7	79.3	90.9	67.0	105	107.0

平均利用率：87.1%

5. マイーム〔共同生活援助事業〕

(1) 概要

他施設への移行や精神疾患の悪化により、3名が退所となった。

また、生活困窮者で在宅生活が長く、集団生活が難しい方（精神障害あり）の受け入れを行ない、その都度関係部署と連携を図り対応を行なってきたが、本人の意向に伴い退所となった。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性 別	支援機関	入所日	性 別	支援機関
4月30日	男性 (ダビデホーム)	桐生市	3月10日	男性 (バルナバホーム)	渋川市
8月31日	男性 (バルナバホーム)	渋川市			
11月30日	男性 (バルナバホーム)	渋川市			

(3) 重点目標に対する取り組み

①「気付き力」を向上させる

- ・利用者の障害の重度化や病気等に伴い、今まで使用していた「アセスメント表」の様式を作成し直し、世話人も聴き取り調査に加わった。
- ・個別支援検討会議を実施し、本人の意向を確認するとともに各ホームの打ち合わせの中で情報共有を行なった。

(4) 利用者支援

①生活支援

- ・病気により入院治療が必要な利用者が多くなったが、その都度医療関係者と連携を図り対応を行なった。
- ・障害の重度化や病気等により、訪問看護や訪問介護を利用される利用者が多くなったが、その方に合ったサービス提供を行なうことができた。
- ・6月7日、バルナバホーム利用者が「世話人から暴言を言われた」と言い、渋川市虐待通報センターへ直接電話をすることがあった（結果、虐待認定はされなかった）。当該利用者は7月13日に他利用者へ暴力行為をしてしまい、精神病院へ入院。その後退所となった。

②健康管理

- ・5月中旬にさくらホーム、8月中旬にダビデホーム利用者が新型コロナウイルスに

感染した。嘱託医に指示を仰ぎながら対応を行なった結果、重症化する利用者はなく収束することができた。

(5) 建物設備

- ・ さくらホーム：リビングのコンセント修理(円建工)
- ・ クロスホーム：洗濯機購入(ヤマダ電機)
- ・ ダビデホーム：トイレ清掃(アットハウスクリーン)

(6) 年間行事等報告

月	日	内 容
5	7	消防設備点検（バルナバホーム）
5	10	消防設備点検（さくらホーム、ダビデホーム、クロスホーム）
6	10	感染症対策委員会①
6	24	ダビデホーム夜間想定防災訓練
6	24	消防立ち入り検査
6	28	身体拘束禁止研修、さくらホーム夜間想定防災訓練
7	16	バルナバホーム夜間想定防災訓練
7	18	クロスホーム夜間想定防災訓練
8	2	感染症対策委員会②
9	11	自然災害(BCP)訓練
9	24	スプリンクラー点検（ダビデホーム、クロスホーム）
7	25	スプリンクラー点検（バルナバホーム）
11	14	消防設備点検（バルナバホーム）
11	15	衛生管理訓練①、感染症対策委員会③、虐待防止研修
11	18	衛生管理研修①、消防設備点検（さくらホーム、ダビデホーム、クロスホーム）
1	10	群馬県運営指導実施
1	29	さくらホーム日中想定防災訓練、地震訓練
2	10	スプリンクラー点検（ダビデホーム、クロスホーム）
2	12	スプリンクラー点検（バルナバホーム）
2	14	自然災害（BCP）研修、感染症(BCP)研修・訓練、衛生管理研修②、衛生管理訓練②
2	17	ダビデホーム日中想定防災訓練、地震訓練
2	25	クロスホーム日中想定防災訓練、地震訓練
3	13	バルナバホーム日中想定防災訓練、地震訓練
3	31	感染症対策委員会④

※毎月1回、外出支援を実施。感染症流行時には外出支援を控えた。

第4章 通所系サービス

1. ベテル〔就労継続支援事業B型事業〕

(1) 概要

利用者数は大きな増減なく、感染症の集団感染等もなかったため利用率 110%と順調な稼働状況であった。但し、高齢化の進行と癌等の罹患者が数名いる状況であり、今後楽観的な考えは持てない。安定かつ継続的な運営のために利用者獲得のための手立てが必要。

就労関係として、印刷班が売上・収支差額ともベテルの主という状況は変わらないが、前年比で約 1,300,000 円超の売上減となった。製袋班も株式会社シモジマからの受注減がさらに顕著となり、大きなマイナス収支となった。反面、販売班は DTF プリンター導入後の売上及び収支差額が予想以上の伸びを見せた。また軽作業班に関しても、施設外就労も含めた複数の作業を行なうことで、期末勤勉手当を除外すれば年間でプラス収支となる状況であった。結果として平均工賃は 35,024 円（新工賃算定：前年比 1,930 円の増額）となった。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
10月31日	男性	中之条町	6月3日	女性	高山村
			9月18日	男性	中之条町

(3) 重点目標に対する取り組み

①平均工賃 26,500 円（新工賃算定の場合：33,250 円）を達成する

- ・平均工賃は、35,024 円（新工賃算定：前年比 1,930 円の増）。目標である 33,250 円を達成した。
- ・各班年間売上と平均工賃

班名	令和 6 年度売上実績	令和 5 年度売上実績	前年比
印刷班	22,247,501 円	23,599,742 円	△1,352,241 円
販売班	3,924,297 円	1,781,340 円	2,142,957 円
軽作業班	3,362,272 円	2,453,429 円	908,843 円
製袋班	3,997,600 円	5,500,044 円	△1,502,444 円
各班合計	33,339,692 円	33,339,692 円	△104,271 円
平均工賃（月額）	35,024 円	33,094 円	1,930 円

(4) 各班収支状況

①印刷班

- ・年間売上額：約 2,220 万円（前年比：約 94%）。目標値は前年度限定の単発案件を除外して試算しており、目標額約 1,740 万円としていたため、達成率は 128%となった。予想よりは少なかったが、今後も紙媒体の減少は継続すると思われる。

②販売班

- ・年間売上額は約 392 万円（前年比：約 220%）目標達成率 220%となった。
- ・5 月に導入した DTF プリ

ンターに関して、7 月にお披露目会を開催し正式に受注開

始。7 月～3 月までの売り上げ：約 252 万円。月平均：約 22 万円となった。またゲームプリンターの機材を持ち込み、イベントでの出店の依頼もあり、その中での顧客獲得や他事業所との関係構築にも繋がった。

- ・棟高祭り、ナイスハートフェア、バザール de ぐんま県庁、ステップ ONE ミサト、ハワイラブタウン in 群馬、渋川市みんなの福祉事業所展、吉岡新春コンサート、ジョイホン吉岡の販売会に出店した。

③軽作業班

- ・年間売上額は、約 336 万円（前年比：約 138%）、目標達成率は 130%だった。内訳としては、銅箔とアルミの分別作業・解体作業が約 128 万円。発泡スチロールのテープ留め作業と排水溝部材の梱包作業を合わせて約 72 万円であった。関根昆布が約 31 万円、松本樓の清掃業務委託（施設外就労）は約 96 万円だった。
- ・発泡スチロールのテープ留め作業については、令和 7 年 2 月以降は商材の入荷量が減少した。

④製袋班

- ・年間売上額は約 400 万円（前年比：72%）月平均では、約 33 万円となり、目標達成率は約 75%だった。総発送枚数は、約 630 万枚（前年比：約 85%）。昨年に続き、売上額、発送枚数ともに回復することができなかった。受注元のシモジマからの発注量は年々減少している。
- ・シモジマからの受注が減少しているので、売り上げ向上を図るためジェイフィルム株式会社の下請け作業を検討中（ゴミ袋の袋詰め作業）。

（5）利用者支援

①作業支援

ア 印刷班

- ・各自、個別支援計画に掲げた目標に対する支援を実施。目標以上の成長が見られた方もおり、個々の力量の差が顕著になった。

イ 販売班

- ・DTF プリンターの操作等について、利用者 1 名の方が簡易的な作業工程を覚えるこ

とができた。

ウ 軽作業班

- ・ 昆布作業や松本楼の清掃業務委託作業には、多くの利用者が関われるように支援を継続し、各利用者の適正に合わせた支援に繋げた。
- ・ 新たに解体作業に取り組み始めた利用者に対し、解体手順や分別の種類を説明しながら支援を行った。また、銅箔剥がし作業では、数名の利用者に対し、作業の効率化と身体的な負担軽減に繋げられるような治具製作や、作業手順の見直し等の支援を行った。

エ 製袋班

- ・ 封筒チェックを担当できる利用者を増やすため、新たな利用者を選定し、封筒チェックを覚えてもらう支援をした。ほぼ全てのチェックができるようになった。

②アート活動

- ・ 希望者による月 1 回のアート活動の時間を設けた。そこで制作された作品を 12 月の渋川市主催：障害者アート展「いつもを形に展」、1 月の吉岡町主催：「みんなのアート展」に出展することができた。

③行事・集会開催状況

月	日	内 容	月	日	内 容
4	11	春季日帰り旅行	11	6	秋季日帰り旅行
6	19	親笑レクリエーション大会	12	28	慰労会
8	7	夏季日帰り旅行	1	4	利用者新年会（お祝い膳）

（6）健康管理

①年間報告

月	日	項 目	備 考
4	25	血圧・体重測定	
5	23	血圧・体重測定	
	31	利用者採血	恵の園看護師
6	21	前期健康診断聴打診	嘱託医（利用者 22 名）
	27	血圧・体重測定	
7	26	血圧・体重測定	
	31	レントゲン検査	レントゲン車（利用者 15 名）
8	22	血圧・体重測定	
9	26	血圧・体重測定	
10	30	インフルエンザワクチン接種	嘱託医（職員 10 名 利用者 21 名）

	31	血圧・体重測定	
11	28	血圧・体重測定	
12	18	後期健康診断聴打診	嘱託医（利用者 24 名）
	27	血圧・体重測定	
1	23	血圧・体重測定	
2	27	血圧・体重測定	
3	27	血圧・体重測定	

※ 8 月～1 月 生活習慣病予防検診実施（35 歳以上の職員）

（7）日中一時支援事業

・利用者なし。

2. エステル〔就労継続支援事業B型事業・生活介護事業〕

(1) 概要

新規で5名の利用者が利用開始。ご家族の関係や本人の就労の関係で2名が退所された。

就労継続支援B型では、パン工房マンナで新商品の開発や特別支援学校への外部販売、売店や職員販売を実施。また、渋川市の地域活性化事業にも数回出店した。生活介護では、生産活動を継続。畑を利用した野菜作りにも挑戦した。新規の利用者もいたため活動内容の見直しや食席等の検討を行なった。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性 別	実施機関	入所日	性 別	実施機関
11月30日	女性	渋川市	2月6日	女性	渋川市
12月9日	男性	宇都宮市	3月3日	男性	前橋市
			3月4日	男性	渋川市
			3月17日	男性	渋川市
			3月24日	男性	前橋市

(3) 重点目標に対する取り組み

①就労継続支援事業B型

平均工賃 14,000 円を目指す

- ・作業収入はクリーニングが大幅に低下した。また。施設外就労で伊香保のホテル清掃事業を終了した為、マイナス計上となった。その他の作業は増収となったものの、全体的には減収となった。工賃については、昨年度より繰越金を少なくすることで、19,651 円（前年比+1,418 円）上回ることができた。

・生産活動売上と平均工賃

生産活動内容	令和5年度実	令和6年度実績	前年比
公園清掃	1,188,000	880,000	△308,000
クリーニング事業	4,803,300	3,792,000	△1,011,300
パン工房事業	3,331,910	3,600,498	268,588
軽作業事業	4,608,390	4,634,690	26,300
合 計	13,931,600	12,907,188	△1,024,412
平均工賃（月額）	18,233	19,651	1,418

（単位：円）

②生活介護事業

ア 活動内容を充実させる。

- ・日課は、午前運動、午後は創作・レクリエーションを継続した。利用者の状況の

変化に対応し運動のグループ分けを変更した。外部講師による月 1 回のリトミックはなかなか関われなかった利用者也参加できるようになった。毎月のレクリエーションの企画も継続した。外部関係は新型コロナウイルス感染予防の為、実施せず。花の育成と畑を利用した野菜の栽培をした。他事業所の短期入所を利用する方については、相談支援事業所ぶどうの木と連携を取りあった。

(4) 利用者支援

①就労継続支援事業B型

[生産活動支援]

パン事業では、課題であった支出を抑えることはできたが、物価高騰等の影響もありマイナス計上となった。イベントへの積極的な出店や外部販売についても継続的に実施することができた。新規で渋川市役所の売店にパンを置いていただけるようになった。軽作業については、昆布の作業を主力作業とし多くの利用者が取り組めるような作業環境や体制作り図った。公園清掃事業は継続して作業ができた。クリーニング事業については高齢施設からの作業量が減りマイナス計上となった。また障害の特性を考慮した座席の配置を検討し、落ち着いて作業できる環境作りを行なった。

[生活支援]

ア 利用者対応

- ・生活習慣の乱れや着衣の乱等ある利用者に対し改善が図れるよう、声かけ等の支援を行なった。また保護者にも改善できるよう協力の依頼を行なった。
- ・レクリエーションとして、コロナ前と同様な行事をすることができた。

イ 通所支援

- ・通所支援として、1日4便の送迎便を運行。利用者の状況に合わせルートや席順を変更しつつ送迎した。

ウ 保健衛生支援

- ・保健衛生支援として、毎月の体重血圧測定、年2回の定期健康診断、インフルエンザの予防接種や胸部レントゲン撮影を実施した。また、感染症予防の為、毎日の検温及び手洗いうがいの徹底を図った。

エ 給食支援

- ・給食支援として嗜好調査を行ない、可能な範囲で希望のメニューを取り入れた。また、選択メニューを月2回実施した。外部委託業者（グリーンヘルスケアサービス）と共に、毎月会議を行ない、検食での指摘事項について検討した。
- ・摂食状況把握の為、全利用者の喫食状況を毎日記録した。

オ 家庭との連携

- ・家庭との連携として、連絡帳を毎朝確認し、特記がある場合は、朝礼で職員に周知すると共に、家庭へ電話での連絡を行ない情報の共有化を図った。
- ・グループホーム・ケアホーム利用者については、サービス管理責任者や世話人と

連携を密にとった。また、エステルだよりは毎月発刊した。

②生活介護事業

ア 利用者対応

- ・日課は、午前は運動、午後は創作活動やレクリエーションを継続した。但し、利用者の状況にあわせて午後も運動するなどした。入浴は女性利用者2名、男性利用者3名を対応した。

イ 機能訓練・運動

- ・個々の身体状況に合った運動メニューを理学療法士と検討した。

ウ 創作的活動

- ・生活介護の出入り口と玄関に作品を展示した。

エ 生産活動

- ・野菜の育成や販売、さらには自分たちで調理し提供できた。

オ 生活相談及び援助

- ・送迎時やサービス担当者会議等を通じ、家族との情報交換を密接にした。
- ・利用者の状態を細かく観察し変化に対応した。

カ 行事・社会活動支援

- ・昨年度までレクリエーションは新型コロナウイルスの影響でほとんど室内だったが、徐々に外に出る機会を増やしていった。

③建物設備整備等実施状況

実施月	内 容
4	害虫駆除
5	消防設備点検 電気設備点検
7	電気設備点検 害虫駆除
9	電気設備点検 浄化槽点検 スプリンクラー点検
10	汚泥引き抜き 浄化槽 11 条検査 害虫駆除 洗濯機自動洗剤投入機
11	電気設備点検
1	害虫駆除
2	スプリンクラー点検

3	電気設備点検 スプリンクラー点検 消防設備点検
---	-------------------------------

④年間行事報告

月	日	内 容
4	1	辞令交付式
	27	お花見（渋川市総合公園）
5	22	レントゲン撮影
6	21	レクリエーション（焼きまんじゅうの会）
	24	防災訓練
	26	地域サービスウィーク
7	5	前橋七夕まつり見学
	10	採血
	31	聴打診
8	23	暑気払い
9	11	風水害 BCP 訓練
10	11	秋季レクリエーション
11	22	日帰り旅行（藤岡方面）
	27	聴打診・インフルエンザ予防接種
12	6	会食会（プレヴェール渋川）
2	27	冬季レクリエーション
3	1	防災訓練

（４）日中一時支援

高崎市からの利用者を 7 月に 3 回、8 月に 4 回受け入れを行なった。

渋川市からの利用者を 7 月に 1 回、8 月に 3 回、9 月に 1 回、12 月に 2 回、1 月に 1 回、3 月に 1 回受け入れを行なった。

3. シャローム〔就労継続支援B型事業〕

(1) 概要

利用者の安全を第一に考え、利用者の働く意欲と生産力の向上を目標に支援を行なった。

生産活動では、りんごは猛暑や病害等の影響を受け、早生と晩生品種の収量が激減し、売上も減少した。野菜も猛暑や虫害等の影響を受け、枝豆が売上目標の半分にとどまった。玉ねぎは次年度へつながる取り組みとなった。全体では売上目標を達成することはできなかった。また5名の新規利用があったが、長期欠席の利用者が多く、2名の退所もあり、目標の利用率を下回った。

(2) 年間入退所状況

入所日	性別	支援機関	退所日	性別	支援機関
5月7日	女性	渋川市	10月4日	男性	渋川市
6月3日	男性	渋川市	12月19日	女性	渋川市
7月9日	男性	渋川市			
2月4日	男性	江戸川区			
3月3日	女性	渋川市			

(3) 重点目標に対する取り組み

①月額平均工賃 25,000 円を目指す

- ・りんごは、猛暑の影響で一部の品種に病気が発生し、売上は目標に届かなかった。野菜も猛暑や虫害等の影響を受け、枝豆が売上目標の半分にとどまった。玉ねぎは、ヤマト福祉財団主催のたまねぎ塾に参加できたことや近隣農家からの加工用たまねぎの収穫依頼等もあり、次年度へ繋がる取り組みとなった。秋野菜（キャベツ・アレッタ等）の出荷はほぼ順調に進み売上増につながったが、全体では売上目標を達成することはできなかった。
- ・りんごの木の改植を実施（群馬県園芸強化の果樹経営支援対策事業により、上の圃場に名月と秋映を計118本定植）。
- ・野菜の農地（借地）を増やし、作付面積の拡大に繋げた。
- ・平均工賃算定は25,000円に設定。全体の生産活動収入は前年度比102%の8,247,502円にとどまり、月額平均工賃実績は23,866円となった。
- ・生産活動売上と平均工賃

生産活動内容	令和6年度実績	令和5年度実績	前年比
りんご	3,115,085	3,747,593	△632,508
野菜	4,320,067	3,467,340	852,727
加工品	560,350	606,250	△45,900

清掃委託	252,000	252,000	0
合 計	8,247,502	8,073,183	174,319
平均工賃月額	23,866	25,642	△1,776

②新規利用者の獲得を目指す

- ・県内の各特別支援学校、相談支援事業所、自治体、グループホーム、なんでも相談室等への挨拶回りを実施。5名の新規利用に結び付いたが2名は退所となった。

(4) 利用者支援

① 生産活動支援

- ・朝礼、終礼また各作業現場等で注意を呼びかけ、大きな事故や怪我等を防止することができた。またヒヤリハットや苦情等を職員会議等で検証し、再発防止を図った。
- ・利用者個々の能力・適正を見極め、作業内容・作業配置を固定化することで、作業の効率化を図り、生産性を高めることができた。

②就労への移行に向けた支援・就労の機会の提供

- ・セルプの販売会、わくわくミサトでの販売会、赤城ふれあいまつり、しぶほこっ、つながるフェスティバル、ケアコム等の販売会に利用者と共に参加することができた。

③生活支援・相談及び援助

- ・社会人として相応しい生活習慣や態度を身につけてもらうため、本人だけでなく家庭やグループホームから日頃の生活について情報提供を依頼した。

④食事の提供

- ・嗜好調査や希望献立を可能な限り取り入れて、バラエティーに富んだ給食を提供した。
- ・季節ごとに新たなメニューを考案し取り入れることができ、利用者の楽しみとなっている。
- ・高齢の方の食事は食材を小さく切って提供、肥満対策としてご家族のご了解をいただいた上でご飯の量を減らすなどの対応を取った。
- ・食事の準備及び片付け、食事のマナーについては、その都度声掛け等の支援を行なった。
- ・栄養士による献立の確認（必要な栄養素等を献立に反映）、また BMI の算出（身長測定）を行ない、利用者の健康増進に取り組んだ。

⑤健康管理

- ・毎月の体重測定、年2回の血圧測定、尿検査を行なうとともに、嘱託医による定期健康診断を実施し、疾病の予防、早期発見に努め、家庭やグループホームと連携して支援を行なった。

⑥行事・社会活動支援

- ・セルプの販売会、わくわくミサトでの販売会、赤城ふれあいまつり、しぶほこっ、つながるフェスティバル、ケアコム等の販売会に利用者と共に参加することができた。

⑦建物設備等実施状況

- ・車いす用トイレの修繕を行ない、洋式トイレを増やした。
- ・りんご園売店でカード決済が行なえるようにした。
- ・PCを1台購入した。
- ・日本財団の助成を受け、送迎車両としてセレナを購入した。

⑧年間行事報告

月	日	内 容	月	日	内 容
4	8	花見	11	9	バザー（めぐみホール）
5	29	キラキラレク（めぐみホール）	12	24	クリスマス集会
7	26	納涼祭（めぐみホール）	12	27	慰労会
9	6	日帰り旅行（20周年記念事業含む）	1	4	新年会

4. ゆうかり〔通所介護・予防介護〕

(1) 概要

令和5年度の利用率平均は53%であったが、令和6年度は平均で68%まで上昇した。新規の利用者が定期的に利用を開始したが、同時に利用中の方の入所移行などもあったため、大幅な上昇には至らなかった。

また、新規利用者獲得のため、居宅介護支援事業所に挨拶回りや地域の方々との交流を図る場を設けた。利用者支援の充実を図るため、再アセスメントや新たな日課・行事の検討、職員に対する研修を可能な限り予定に組み込み、実施した。

(2) 重点目標

①利用率の向上

- ・各居宅介護支援事業所との連携を強化して情報共有を行なうとともに、事業所の取り組んでいる内容などのPRを行なった。今まで関わりの無かった居宅介護支援事業所へのPRにも力を入れ、新規利用者の獲得に繋げることができた。

②個別対応の強化を図る

- ・利用者の人数が増えてきたことで、より全体での活動参加が困難な方への個別の対応など検討、対応内容の共有を図った。

利用していて楽しい時間を過ごしてもらえるよう、職員会議等で余暇時間の過ごし方や行事を検討・実施した。また利用者情報を現状に見合うように再アセスメントを行なった。

(3) 利用者支援

①介護

- ・各担当ケアマネジャーのケアプランに基づき通所介護計画書を作成した。全職員が通所介護計画書の内容を理解し、支援の方向性を統一できるように努めた。また介護方法の変更などについては、その都度、ご家族やケアマネジャーに確認をして進めた。

②食事

- ・利用者や家族、ケアマネジャーに聞き取りをして管理栄養士と連携し、個々の嗜好にできるだけ合わせられるようにした。また、季節食や行事食も提供して利用者に季節感や食べる楽しみを味わっていただいた。

③医務・リハビリ

- ・感染症予防のため、職員の入勤前の検温や体調チェック、手洗い、うがいを行なった。

- ・利用者や家族に対し、送迎前の検温をお願いした。また通所時にバイタルを確認し、利用者の健康管理に努めた。発熱などの不調が見られた場合には、家族に連絡をするなどの対応をとった。
- ・月 1 回の理学療法士が来園時に機能訓練のアドバイスを受けた。それらを参考にして、日常のレクリエーションの中にも集団体操などを取り入れ、利用者の機能維持、向上に努めた。

(4) 年間行事報告

月	日	内 容
4	11～13	お花見ドライブ
5	29～31	新緑ドライブ
9	26	ゆうかりカフェ
10	14～19	りんご狩り
11	14	運動会
11	18～23	紅葉ドライブ
12	24	クリスマス集会
12	30	忘年会

(5) 年間利用状況

月	開所日	登録人数	実利用人員数	延利用人員数	稼働率
4	26	30	29	325	62%
5	27	30	28	310	57%
6	25	30	27	299	60%
7	27	31	29	330	61%
8	27	33	31	361	67%
9	25	35	30	337	67%
10	27	33	30	351	65%
11	26	34	31	346	67%
12	25	37	34	385	77%
1	24	36	34	359	75%
2	24	36	34	379	79%
3	26	36	31	391	75%
合計	309日	401	368	4173	
平均		33	31	348	68%

※令和 6 年 12 月 31 日（火）令和 7 年 1 月 3 日（金）年末年始休業日。

開館時間 9:30～16:30（7～8 時間）

1 日の平均利用人数 13.5 人（1 日の利用定員 通常規模 20 名）

第5章 相談支援サービス

1. ぶどうの木

(1) 概要

利用者自身が望む自立した社会生活を支えることを目的とし、抱える課題の解決を行ない、本人に合った適切なサービスが利用できるようサービス等利用計画を作成した。一人ひとりの特性に合ったサービスが提供されているか、他に課題はないか定期的なモニタリングも行なった。

相談員2名が相談支援従事者現任研修、相談員1名が相談支援従事者初任者研修を受講し、相談支援専門員が2名から3名となり相談支援体制が充実した。

地域課題となっている障害児計画相談についても取り組んだが、困難事例や地域移行等の対応により、新規利用者は1名にとどまった。

困難事例として、県外の入所施設から市内のグループホームへ移行した重度利用者2名の事例では、重度のため受け入れが困難となり入所施設への移行が必要となったが、ご本人、ご家族の意向を無視し閉所ありきで無理矢理地域移行をしたことが発覚した。県外の住所や強度行動障害でもあることから、受け入れ先が見つからないため、支援市町村、長野県の佐久圏域障害者自立支援協議会とも連携しながら、県内だけでなく県外も含め移行を進めた。その他、介護保険との連携が2件、重度化により既存の事業所が利用できない事例が数件あり、サービス調整をした。昨年度よりも、基幹相談支援センター、支援市町村、病院等と連携して対応することが増え、チームで支援していくことが求められる事例が多かった。

虐待関係では、虐待が疑われ支援市町村へ相談した事例が1件、虐待通報された事例が2件あった。再発防止のため、ご家族支援やサービス利用状況の確認をこまめに行なった。その他、ぶどうの木の対応に対してご家族より苦情が1件あり、個人情報漏洩しないよう注意するとともに、ご家族への意向確認を徹底した。

(2) 実施状況

全契約者数	新規契約者数	契約終了者数	サービス等利用 計画作成数	モニタリン グ作成数
256名	6名	12名	107件	528件

(3) 重点目標に対する取り組み

①指定一般相談支援事業

- ・入所施設利用者の地域移行について、サービス担当者会議にて意向確認を行なった。移行希望が3件あり、1件はぶどうの木と契約していないセルフプランの方のため市

町村へ報告した。2件は障害特性により移行が難しい方であった。

- ・地域移行の取り組みとして、法人外利用者で精神科病院へ長期入院されている方1名の支援を行なった。グループホームへ移行に向け関係機関と調整中。

②指定特定相談支援事業

- ・11/11（月）高次脳機能障害支援者研修に参加し、病院との連携や支援内容等を計画に反映することができた。

③障害児計画相談

- ・基幹相談支援センターのなんでも相談室と連携し、地域課題となっている児童の計画相談について取り組んだ。なんでも相談室から約10件の依頼を受け、2件について対応し1件新規契約となった。

（４）業務計画に対する取り組み

- ・利用者やご家族からの相談に応じ、短期入所、移動支援、共同生活援助、通院介助、居宅介護（家事援助、身体介護）、日中一時支援等の希望があり、事業所の情報提供やサービス調整を行なった。
- ・在宅生活が継続できるようサービスの調整等を行なった。将来の生活を考え、必要なサービスの説明や緊急時にも利用できるよう短期入所等の体験利用を進めた。
- ・毎月の職員会議や週1回の定例の打ち合わせで、進捗状況や困難事例の検討を行なった。
- ・地域資源の確認や困難事例の相談等について、なんでも相談室、渋川広域の他の相談支援事業所、各市町村へ確認した。
- ・相談支援部会、強度行動障害支援者養成研修、障害児計画相談研修等へ参加し、制度やサービスについての理解を深め、計画に反映させた。
- ・成年後見制度について、希望されたご家族や必要とされるご家族へ情報提供や利用援助を行なった。

2. シオンの丘〔居宅介護支援事業〕

(1) 概要

開所7年目に入り、2名体制でコンスタントに毎月80件以上の安定した居宅計画費を得ることができた。また

、地域包括支援センターや病院、電話相談からも新規利用者の獲得に繋げることができた。

(2) 重点目標に対する取り組み

① 事業所経営の拡大を図る

- ・2名体制でコンスタントに毎月80件以上の安定した居宅計画費を得ることができた。今後は3名体制を視野に入れて、減算をなくし特定事業所加算の取得を目指す。

② 複雑、困難なケアマネジメントに対応する

- ・地域包括支援センターや他の居宅介護支援事業所と連携して事例検討会で情報交換と共有、また困難事例に取り組むことができた。

③ 将来を見据えた新しいサービスを検討する

- ・身元引受人などインフォーマルなサービス実現のため情報収集を行なっている。

(3) 担当利用者数推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要介護	80	80	82	80	79	82	86	90	86	90	92	87
要支援	6	6	5	5	5	6	5	6	7	8	9	9

※累計契約利用者数 354件（令和7年3月末現在）

第6章 収益事業

1. オリーブ

(1) 概要

売り上げは目標額よりも約 720 千円少なく達成率は 97.9%であった。そのため法人への繰り入れ額は目標よりも 120 万円少ない 130 万円となった。

(2) 重点目標に対する取り組み

①収入 3,500 万円、収支差額 250 万円を達成する

- ・令和 6 年度は、昨年度より売り上げを伸ばすことができ、130 万円を繰り入れできた。

②現状のオリーブ事業内容の整理を行なう

- ・オリーブ事業の内容確認は途中で完成できなかった。

③新規の事業を検討する

- ・取り組めなかった。

(3) 年間売上実績（前年度比）

単位：千円

	売上高	法人への繰り入れ
令和 6 年度	33,786	1,300
令和 5 年度	30,766	1,000
差 額	3,014	300